あなたは愛です

塩川香世 著
田池留吉 監修

ISBN978-4-87534-404-9
C3036 ¥0000E
定価 1,000 円（税込み）

UTAブック

五訓

一、あなたは目に見えません。
あなたはエネルギーだからです。

一、日々の生活の中で、自分の作ってきた
エネルギーを感じてください。

一、瞑想をして、磁場のエネルギーを
心に感じられるようになってください。

一、何を間違えたのか、なぜ間違ったのか、
あなたの心で知ってください。

一、次元移行という意識の流れを
心で知ってください。

はじめに

「あなたは愛です。」

　信じられますか。信じていただきたいんです。信じられるようになっていただきたいんです。

　今、あなたがそこにそうしていること、それがすでに「愛」であると分かりますか。

　あなたは自分の勝手で、あるいは親の都合、勝手で産まれてきたのではありません。

　あなたは自分が産まれてきたかったから、産んでもらったんです。

　この事実を、どんなことがあっても、そして、いついかなる時も自分の中から忘れてはなりません。

　ここをないがしろにして、あなたが幸せと喜びの人生を歩むということは絶対にありません。

　今まで、大抵の方は、こんなことを思ってもみなかったでしょう。

　しかし、確かに私達は、産まれてきたかったから産んでもらったんです。この事実に辿り着くま

でに、私達はどれほどの時間を要してきたのでしょうか。いいえ、未だにまだまだこのことが分からない人達は、世界中にたくさんいます。いいえ、殆(ほとん)どの人達と言ってもいいでしょう。

その現実を踏まえて、それでも、私はただ真実だけを見つめて、自分の心に感じ、確信していることを文字にしてまいります。

私達人間は、自分の本当の姿を知りません。

私達人間は、今、目に見える肉体という形を指して、それが自分だと思い込んでいます。その思いは非常に強いです。(この思いを、本書では「肉」と表現しています。)

今現在、世界人口、何十億の人達の殆(ほとん)どが、この肉の思いの中で生きています。肉を自分だと思って生きています。

目に見える、そして、耳に聞こえるといった五官でとらえる世界に生きていると思っている私達は、当然、その中で何とか幸せに、豊かに、楽しく、そして、喜びで生きていこうとしています。

しかし、本当は、私達には、何が幸せで、何が

豊かで、何が喜びであるのか、分からないのではないでしょうか。

　人生色々とか、十人十色とか言われているように、確かに、幸せや喜びの価値基準、人生観は千差万別でしょう。

　それに加え、愛とは何かということになってくれば、それはそう簡単に語れるものではないのかもしれません。

　その通りです。愛は語ることなどできません。いいえ、本来は、愛は語るものではないんです。

　もっとも、五官でとらえる世界の中では、愛は、古今東西において、たくさん語られてきました。夫婦愛、家族愛、師弟愛等々、愛と名がつくものは世の中にたくさんあるのはご承知の通りです。

　たくさん語られてきた愛の話、みんなが愛だと思ってきた愛の世界なんですが、では、結局、愛とは一体何ですかということになれば、何か曖昧模糊（あいまいもこ）としていませんか。

　そこで、少し前に戻ってください。

　私は、「私達人間は、自分の本当の姿を知りません」と記（しる）しました。

それは、言い換えれば、「私達人間は、自分が愛であることを知りません」ということなんです。

自分が愛？

それこそ、曖昧模糊（あいまいもこ）、雲をつかむような訳が分からない話、現実離れした話かもしれません。というのも、あなたがこのことを頭でとらえようとしているからなんです。

本書は、本当の私から、本当のあなたへ語りかけていく内容となっています。難しい言葉は使っていませんが、その中身はあなたの頭では分かりません。どんなに頭脳明晰（ずのうめいせき）な人であってもダメです。

なぜならば、**今、そこに肉体という形を持っているあなたは、本当のあなたではないからです**。

あなたの頭のてっぺんからつま先まで、もちろん、それはあなたの肉体だから、あなた自身です。しかし、その肉体を指して、これが自分だと決めつけるのは、ちょっと待ってくださいということなんです。

私は、本書を通して、自分達の本当の姿を知らずにずっと存在してきた私達には、本当の愛は分からなかったのではないでしょうかと、問いかけていきます。

そして、私達が愛と言ってきた、思ってきた愛や愛の世界は、実は、真実の愛でもなければ、真実の愛の世界でもなかったことを、きちんと発信していきます。

真実の愛、愛の世界は、私達の外にあるのではなく、私達の中にあったということを、あなたの心で知ってくださいと発信していきます。

私は、私達は愛そのものだったことを、心で知っていただきたいと思っています。

今、あなたの目の前にある形あるものは、そうです、確かにそこに存在しています。それは、あなたのその肉体を含むすべての形あるものという意味です。

それはその通りなんですが、それでは、そこには、目に見えて、耳に聞こえて、手に取ってみることができるものがあるだけなんでしょうか。

「そうだ」と答える人もあるでしょう。しかし、私の答えは「いいえ」です。

さらに、私の答えは、「私達は、目に見えて、耳に聞こえる形のある世界に生きているのではない」と続いていきます。

そして、「私達人間の本当の姿は、目に見えません。私達は意識、エネルギーとして永遠に存在しています」、「私達の本質は愛です。愛のエネルギー、パワーが私達なんです」と続いていきます。

冒頭、「あなたは愛です」というのは、

「愛は、エネルギー、パワー。しかも、プラスのエネルギー、パワー。プラスとは、喜びと温もり。よって、愛とは、喜びと温もりのプラスのエネルギー、パワーである。

そして、それが私達の本質である。いいえ、すべての本質は愛である」ということを、コンパクトに表現したものです。

愛のエネルギー、パワーとして永遠に存在しているのが、実は本当のあなた、本当の私達なんです。

つまり、本当のあなたに、本当の私達に目覚めていきましょうというのが、本書のテーマです。

そして、そのテーマは、言うまでもなく、私達の人生のたった一つの目的なんです。この目的を達成するために、それぞれに人生の時間が用意されているのです。

ところで、今、永遠という言葉が出ましたが、あなたの目の前に広がっている形ある世界は、やがて、あなたの目の前から消え去っていきます。もちろん、あなたのその肉体もそうです。形あるものは、いずれ、その形を無くしていくというのが、世の常です。

ということは、形のある、形で示された世界は実在するけれど、それは永遠に続く世界ではないということになりませんか。

しかし、真実の世界、あるいは本物の世界というのは、永遠に続いていく世界でなければなりません。

永遠に続いていく世界だからこそ、そこに真実があり、その世界は本物だと言えるのです。

仮に、形のある、形で示されている世界が本物の世界であるとするならば、なぜその形を崩して

いくのでしょうか。
　もしかしたら、形を崩していく意味があり、必要があるのではないでしょうか。
　そうであるならば、それはどのような意味があるのでしょうか。
　なぜ、その必要があるのでしょうか。
　そして、形のある、形で示された世界が本物の世界でないとするならば、では、本物の世界はどういう世界なのでしょうか。
　というようなことを、少々頭の隅に置いて、読み進めてくださればと思います。

　再掲します。

「私達人間の本当の姿は、目に見えません。私達は意識、エネルギーとして永遠に存在しています。」
「私達の本質は愛です。愛のエネルギー、パワーが私達なんです。」

　犬も猫もその他生きとし生けるものすべて、植物、鉱物、私達人間以外は、すべて、自分の本当

の姿を知っています。
　知らないで存在してきたのは、私達人間だけです。
　私達は誰一人例外なく、みんな間違ってきました。
　何を間違えてきたのか。それは自分自身を、です。
　自分の本当の姿を知らずに存在してきたこと、存在していくことは、本当はおかしいことなんです。しかし、それが、私達には、おかしいと全く感じられなくなってしまいました。
　何がおかしいのか分からないほどおかしくなってしまったのが、私達人間だと言えると思います。だから、おかしい現象、何で、どうしてと思う現象が、色々な場面で続出してくるんです。

　どうぞ、本物の世界を知ってください。
　本物の世界、本物の愛を知っていきましょう。
　私達の本質は愛であることを知っていきましょう。
　そして、それぞれの心から、本当の愛のエネルギー、パワーを流していきましょう。

愛が分からずに苦しんできたのが、私達人間でした。

あなたのその肉体は消えてなくなっても、あなたという存在は消えないということを、心で知ってください。そして、自分の中の愛のエネルギーを知ってください。

愛の人と呼ばれてきた人達は、愛の人ではありません。自分の本当の姿が分からなかった人達に、愛は流せないのです。その人達は、何を以て愛の人と評されているのでしょうか。

繰り返しになりますが、あなたの頭で理解しようと思わないでください。

本当のことは、あなたの頭では分かりません。

本当のことは、あなたの心で分かるんです。

本当のことを知っていきましょう。あなたの心で知っていきましょう。

第 1 章

愛（本当のあなた）に目覚めよう

私達は、誰一人例外なく間違ってきたんです。

しかし、その間違いに自ら気付いていけるのも私達なんです。

間違いとは、私達は、本当の自分（＝愛）を信じないで、偽物の自分（≠愛）を信じてきたことです。偽物の自分を自分だと思い込んできたことです。つまり、私達は、これまで誰一人例外なく、自分を含む目に見える、形ある世界が本物の世界だと思い込んできたのです。

当然、そこに喜びであるとか、幸せであるとか、生きがいを探し求めていきます。一生懸命、道を模索していきます。一度きりの人生だと思って……。

しかし、哀しいかな、それでは、いつまで経っても、本当の喜びであるとか、幸せには巡り合えないんです。偽物の自分を自分だと思い込んで、その偽物の自分が、楽しい、嬉しい、幸せ、喜びだと感じているに過ぎないだけなんです。

だから、その楽しみや喜びは、本当に楽しみだけ、喜びだけをあなたにもたらしたわけではないはずです。

楽しみを得るために、喜びを手に入れるために、あなたは苦労しませんでしたか。あなたの心と身体を使いませんでしたか。特に心のほうはどうでしたでしょうか。あなたはどんな心を使ってきましたか。どんな思いを出してきましたか。

そして、その後はどうですか。苦労して手に入れた喜びと幸せであればあるほど、それを守り、また大きくしていくために、さらに、あなたは心と身体を使っていったのではないでしょうか。

そうして、それだけ苦労して手に入れたものも、自分の肉体の消滅とともに、あなたの目の前から消えてなくなっていきます。

もちろん、築いたものは、色々な形となって後に遺（のこ）されていくでしょう。しかし、同時にそれは苦しみとなっていきます。そこにはまた新たな苦悩が生じていきます。

このように、私達が本物だと思い込んでいる世界、世の中というのは、悲喜こもごもです。その中で、幸せと喜びを感じている人もいれば、悲しみに沈んでいる人もいます。

しかし、それさえも分かりません。その立場は時間の経過とともに逆転していく可能性は、多々あるのではないでしょうか。

今は、幸せであり喜びであっても、ある瞬間から悲しみの奥底に落ちていくこともあります。

そのような悲喜こもごもの中で、一喜一憂していくことが、本当に、本当の人生だと言えるのでしょうか。

世間一般に、人生、色々と言われています。しかし、人生、色々ではありません。喜びも苦しみもあるのが人生ではありません。

本当は、人生は喜びだけなんです。喜びの人生を生きていくのが、私達人間の本来の姿なんです。

それがそうでないのは、私達人間は、本当の自分の人生を生きることを知らないからです。

本当の自分の人生を生きるとは、自分の本当の姿（＝愛）を知っていくことです。自分の本当の姿（＝愛）を知らないで生きて、死んでいくことが苦しみなんです。

自分の本当の姿（＝愛）を知っていくために、

自分に用意した時間が、人生の時間です。

そして、その自分を知っていくことが、人生の目的なんです。

愛を知らずに生きてきた私達ですが、どうでしょうか。あなたも今こそ、本当の愛を知っていきませんか。本当のご自分と出会っていきませんか。本当のご自分を感じ知っていくような生き方をなさいませんか。

私は、自分の中の愛（本当の自分）を感じて信じていく方向に、心を向けていくように日々努めています。

ゆったりと静かな時間をできるだけ持つように心掛けています。

具体的には、瞑想の時間を持っています。ただし、瞑想と言っても、色々な瞑想があります。そこで、瞑想に関連して、少々、記（しる）しておきます。

瞑想とは、目を閉じて思うことです。

瞑想の一般的なイメージとして、座禅を組んでとか、姿勢を正して精神を統一してとか、反対に

リラックスしてとか、そのようなイメージの中で行われているようですが、そういう瞑想はやめてください。
ましてや、滝に当たって、山を駆け巡ってなどという修行はもってのほかです。そんなことで悟りを開くとか、気持ちが洗われるとか、喜びを感じるとか、幸せになるとか、感謝の思いに満たされるとか、そういうことは絶対にありません。
瞑想をするうえで、最も大切なことは、あなたの心がどこに向いているかということなんです。
その確認のないままで、瞑想をするということは、全く良くないことで、そんな瞑想を続けていれば、その人の末路は哀れなものになっていくでしょう。
私がしている瞑想は、そんな瞑想ではありません。
では、どのような瞑想かということですが、その前に、どなたにもやっていただきたいことがあります。それは、母の反省と他力の反省です。

まず、母の反省です。
自分を産んでくれた母親に対して、どんな思い

で接してきたか、接しているか、なるべく小さな頃のことを思い出してください。

母親がしてくれたこと、してくれなかったこと、自分が母親にしてあげたこと、という三点に絞って、その時、自分はどんな思いを使ったのか思い出して、ノート等に綴ってみるという反省です。

なぜ母の反省なのかということですが、あなたのお母さんが、あなたに今の肉体をくれたのです。

それは、「はじめに」のところでも書きましたように、あなたが自分に肉体をください、私を産んでくださいと、母になる人にお願いしたからなのです。もちろん、そんなことは、今の段階では、おそらく、みんな知らないと答えるでしょう。

しかし、それは、今はそうであっても、いつの日にか、どなたの心にも感じられることなんです。

そして、それは同時に、自分の今の肉体がなければ、自分に本当のことを伝えることができないと知っていきます。

自分に本当のことを伝えることができなければ、どうなっていくのか。本当はみんな自分の心に知っているんです。ただ、それはあまりにも苦しく

て、あまりにも恐怖だから、触れないようにして、誤魔化（ごまか）して日々の時間を過ごしているだけです。

自分の中に蠢（うごめ）くエネルギーを、母を通して、まず感じてくださいというのが、母の反省です。

母の反省をしていって、母親との関わり合いの中で、自分が母親に出してきた思いを知っていけば、自分がどんなに凄まじい思いを、目の前の母親目がけて吐き出してきたかが、はっきりと感じられます。

母親が口を開くたびに、何かをするたびに、自分の心から母親に向かってストレートに出る思いが、どなたにも必ずあります。

その出る思いはどんな思いなのか、そして、そのエネルギーの勢いはどんなものなのかを確認してください。

母親という存在は、自分の中に溜め込んできた思いを、素直にストレートに出してくれるありがたい存在です。

産んでくれて、育ててくれてという親の恩をありがたく受け止め、それに報いるような人間であれという、そんな道徳的なものはどうでもいいこ

とです。

　それよりも何よりも、自分の母親に対して出す思いを包み隠さずに、ありのままに感じ、確認していくんです。そのために、自分にとって受け入れ難い母親が目の前にいることを知ってください。

　中には、母を敬い、母を美化する人もいるでしょうが、殆（ほとん）どの人は、母親を見下げ蹴散らして、我儘（わがまま）気ままのやりたい放題というところではないでしょうか。

　母を敬い、母を美化している人も、もっと自分の心の奥を感じていかれたら、とても、とてもということでしょう。

　みんなすごいです。肉体という形を持った目の前にいる母親を通して、自分の中の狂った凄まじいエネルギーを感じていきましょう。

　みんな心の中にあるんだから、母の反省をしていけば、必ずどなたも自分の中の狂った凄まじいエネルギーを知っていきます。

　知っていくまで、母の反省をしてください。

　みんな本当の自分を捨て去った、愛を捨て去ったんです。

温もりなど要らない、愛などくそくらえ、と叫んできた思いを自分の中で確認できるまで、母の反省をしてください。

そして、お母さんと心に思う、心で呼ぶ、そんな時間を持ってください。

そうしていけば、どんなに温もりなど要らない、愛などくそくらえと叫んでいても、それを本当に無条件で、ただただ受け止めてくれていた母の思い（母の温もり）を、いつの日にか、どなたも知っていけるのです。

そうなってくれば、自分が肉体という形を何としても持ちたかった思いが、自分の中ではっきりと確認できます。

どんなに今という時が嬉しくてありがたい時なのか、自ずと自分の心に響いてきます。

まずそんな母の反省と、母を思う時間を設けて、最初は、表面的でいいですから、「お母さん、ごめんなさい。お母さん、ありがとう」と、素直に言えるようになってください。

初めは、それがささやかなものであっても、やがて、「ああ、私は間違ってきたなあ、お母さん、

ごめんなさい。お母さん、ありがとう」という思いが、あなたの心の奥底から突き上がってくるんです。

もちろん、それはそんなに簡単にはいきません。

その思いを阻止する思いが、長い、長い転生を経て、それぞれの心の中に溜め込まれているからです。

そして、その阻止する思いとは、肉、形を本物とする思いなんです。我一番の思いです。我は神なりの思いです。

その肉、形を本物とする思い、我一番、我は神なりの思いを、私達は他力の心と言っています。

この他力の心が、私達の心の中にこびりついています。その心は、非常に根深いし、根強い思いなんです。

そこで、母の反省と同時、並行に進めていくのが、他力の反省です。

根深く根強くこびりついている他力の心を知っていくんです。

繰り返します。

他力の心とは、肉、形を本物とする心です。我一番、我は神なりの思いです。

この心を崩していくために、私達は何度も転生してくるのですが、結果はその逆となってしまうのです。崩すどころか、さらに上積みをしてしまう結果でした。

私達人間は、自分の本当の姿を忘れ、自分を肉だと思って、その自分を高め、肉の自分の幸せと喜びを手に入れようと、自分の外に、思いを向け続けてきました。

神、仏の加護と力を求め続けました。いつも比較競争の中にありました。そうして、闘いの後、勝利を収めた者が、覇者(はしゃ)となりすべてを牛耳っていきます。人類の歴史は闘いの中にあったと言っても言い過ぎではないでしょう。

もっと言うならば、神と神の闘い。それぞれが神という大義名分を掲げ、己の我欲をむき出しにしていくんです。

そうして得た王者、覇者(はしゃ)の地位であっても、いずれはその地位を追われる、つまり、滅亡していくんです。覇権(はけん)を争い、いつ自分の寝首を掻かれ

るか、心休まる日など一日もないでしょう。

日本の国、世界の国々の歴史を紐解けば、大体こういう愚かなことを繰り返してきたことが分かります。

人間は、自分の本当の姿に目覚めていくために、何度も、何度も、数え切れないほど転生をしてくるのです。

しかし、その自分達の切なる思いとは裏腹に、転生のたびに、みんな真っ黒なエネルギーを溜め込んでいきます。

しかも、誰もそんなことには、全く気付けませんでした。全く気付けないほど、自分達が堕落してしまったんです。それが私達人間の偽らざる現実です。

地球人類の殆どすべての人が、自分の肉体を指して自分だとしています。今も、もちろん、その基盤の上で生きています。これからもそうでしょう。

また、殆どすべての人が、神や仏というものは、自分達人間とは別個の世界のものだと思っています。では、なぜそう思うのでしょうか。

「人間とはいかなる存在なのか。」

　このことが、本当に自分の心で知って分かっていけば、決してそうは思わないはずなんですが、現実はそうでないんです。だから、私達人間が堕落（だらく）してしまったと言えるんです。

　神を心から信じ敬う、神に忠誠を誓う、仏に帰依（きえ）する、こういうことは、本当に素晴らしいことなのでしょうか。立派なことなのでしょうか。褒められるべきことなのでしょうか。

　神や仏の世界を説くというか、感じていく人は、これまでにもあまた出現したことでしょうが、自分とはいかなる存在か、自分の本当の姿を知らず、分からずに説く、神、仏の世界とは一体どんな世界なのでしょうか。

　そもそも、悟りとは何でしょうか。自分の本当の姿を見失ったままで、悟りも何もありません。

　どうぞ、既成概念をすべて外して、これまでに記（しる）してきました母の反省をしてみてください。

　転生のたびに、真っ黒なエネルギーを蓄積（ちくせき）してきたとか、人類は堕落（だらく）してしまっているとか、そ

ういうことは、にわかには理解できないとは思いますが、まず、母の反省を通して、自分の心に何かが、確かに何かが響いてくる体験を重ねていかれたらと思います。

ある時は、涙が一筋頬を伝う、ある時には、涙ぐむ、またある時には、涙と鼻水が溢れ出てくるかもしれません。お母さんと心から呼んでみたい、そんな思いが突き上がってくるかもしれません。

それらは、母に向けて出してきた自分の思いとは裏腹で、想定外のことかもしれませんが、そういう体験をされたらいいなあと思います。

そのうちに、自分の頭では訳が分からずに、どう説明していいか分からないけれど、自分の中から反応してくる自分の思いが確かにあることを知っていきます。

黙って、静かにそこに座っておられない状態になるかもしれません。

例えば、自分の中から突き上がってくる思い、それをエネルギーと表現しましょうか。

自分はたくさんのすごいエネルギーを持っている。このエネルギーが自分のこの肉体を動かして

いるのではないだろうか。
　そうすれば、この肉体とこのエネルギーとの関係をどのように理解すればいいのだろうか。
　色々、色々、考えてみてください。
　そして、考えて出せる結論はないと思いますから、本書に書いてあることが本当のことだと仮定して、それを自分の心で実証してください。

　そこで登場するのが、瞑想という作業です。
　母の反省と他力の反省を、正しい瞑想を通して、さらに深くしていくんです。
　正しい瞑想の「正しい」というのは、あなたの心の向け先を言っています。
　先に書きましたように、瞑想をするにあたって、たった一つ重要なことがあります。
　あなたが何を思い、どこに心を向けて瞑想をしているのかということです。
　それがいわば、真実を知っていけるかどうかの大きな分かれ道です。
　それは言うまでもなく、以下の太字のメッセージを大きな、そして、唯一の柱にしたものでなけ

ればなりません。

「私達人間の本当の姿は、目に見えません。私達は意識、エネルギーとして永遠に存在しています。」

「私達の本質は愛です。愛のエネルギー、パワーが私達なんです。」

私達は意識だ、愛だと信じて瞑想をするのと、それを信じずに瞑想をするのとでは、瞑想といっても、実は似て非なるものなんです。

そして、このメッセージを私達に伝えてくれたのが、田池留吉という人でした。

田池留吉氏については、拙著『その人、田池留吉Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ』を始め、ＵＴＡブックさん発刊の本にすでに書いていますので、本書では省略させていただきます。

ただ、田池留吉氏は、教祖とか指導者とか、そういう立場の人ではないことだけは、本書でも強調しておきます。

結論を言えば、田池留吉に心を向けて瞑想をす

るというのが、正しい瞑想なんです。

　そこで問題となってくるのは、これまでに、田池留吉氏に会ったことがない人達、会ったことはないけれど名前は聞いている、あるいは写真で顔を知っている人達です。

　会ったことはもちろん、顔も知らない、名前も知らない人達は少し置いておくとして、名前を聞いたことがあるとか、写真で顔を見たことがあるというのであれば、その人が、本当に母の反省や他力の反省を通して、自分の心を見るという実践をなさって、自分の心を真実の方向に向けようとしているならば、もちろん、正しい瞑想をすることは理論上、可能です。

　というのは、正しい瞑想とは、田池留吉に心を向けるということであって、田池留吉氏に心を向けることではないからです。

　田池留吉氏と、田池留吉とは違います。呼び名が同じだから、全く無関係とは言いませんが、決定的な違いがあります。

　田池留吉氏は、あなたの外に存在しています。

　田池留吉は、あなたの中に存在しています。

しかも、田池留吉というのは、どなたの心の中にも、もともとあった喜びと温もりの意識の世界です。

だから、その人が、本当に前記の太字のメッセージを心で感じて、田池留吉というのもまた、意識、エネルギーだ、愛のエネルギーだととらえようとする方向に、自分の心を素直に向けていけば、今世、田池留吉氏と実際に話をするとかいうお付き合いがなくても、正しい瞑想ができるということです。ただし、これは非常に難しいということも確かです。

しかし、そういう人が、どんどん心を向けてきて、セミナーに参加してみようかということになって、セミナー参加が現実のものとなれば、話はまた違ってきます。

特に田池留吉氏と直接に話をすることがなくても、そういう人であるならば、セミナーに参加したということで、何かその人の意識の世界に届くものがあるはずです。それが本来の意識の世界の仕組みです。

従って、その逆も言えるんです。

前記の太字のメッセージの意識の転回が停滞している人は、よく、よく、田池留吉氏を知っていても、まだまだ真実よりも道遠しということでしょう。

実生活で田池留吉氏をよく知っている、田池留吉氏とお付き合いがあるということと、田池留吉の意識の世界と歩みをともにしているということとは、関連しません。

以上、瞑想ということから、田池留吉氏が、二十年余りに及ぶセミナーで伝えてくれたことを、かいつまんで記（しる）してみました。

これより先は、日々の中で時間を作って、田池留吉に心を向け、「私は愛です」と思って瞑想をしたときに、私の心に伝わり響いてきた思いを書き留めたものを中心にしながら、その都度、心に上がってきた思いを綴っていきます。

それに先立って、少々、注釈です。

文中、田池留吉と同様にアルバートという言葉も多く出てきます。

田池留吉も、アルバートも意識、エネルギー、波動の世界の総称だと考えてください。

その世界は喜びと温もりだけの無限の世界、まさに愛の世界。

そして、それが私達の本当の世界だと、そういうふうにご理解ください。名前にこだわらないでください。記号くらいに思ってください。名前はどうでもいいんです。今は便宜上、そういう名前で呼んでいるだけですから。

また、宇宙という言葉ですが、この宇宙というのも、意識の世界を指しています。

私達が知っている地球、太陽、月、太陽系、銀河系等々、それらをひっくるめて宇宙と言っている宇宙のことではありません。

宇宙ということについては、拙著『宇宙の風』で詳しく語っていますので、よろしければご参照ください。

そして、あと一つ。異語という言葉です。

異語とは、例えば日本語であるとか英語、中国語というようなものではありません。確かに口から音を発しますが、そこには、主語とか述語はあ

りません。異語で伝えるものは波動です。エネルギーです。

私達は意識、エネルギーですから、異語を通して、すべての意識達と通じ合えるんです。

要は、正しい瞑想を重ね、愛であった自分に目覚め、愛であった自分を自分の中に流し、愛であった自分とともに帰っていくことが私達の願い、切なる思いでしたということに、それぞれがそれぞれの心で感じ知っていかれたらいいんです。

そうなっていけば、あなたの人生、あなたのこれからの時間は、目に見えない世界からの働きかけにより、様変わりに変わっていくでしょう。

あなたの人生、あなたの時間と申しましたが、それは、今、肉体を持っているあなたの人生、あなたの時間に限定しているのではないことを、蛇足ながら明記しておきます。

皆さんも、どうぞ、愛を思い瞑想を重ねていく日々をお過ごしください。

私は思う喜び、思える喜びを味わっています。

瞑想を重ね、自分の心に伝わり響いてくるこの波動、このエネルギーだけが私には信じられる現実です。

この波動、このエネルギーに触れ、感じ、そして、その中にある自分だったと信じられることが、どれだけ幸せであり喜びであるか、私の中にはっきりと伝わってきます。

ともにある喜びです。通じ合える喜びです。

態度、表情、言葉等々の形を伴って示されていく優しさであるとか、温もりであるとか、いわゆる形の世界におけるそういうものは理解できるけれど、そういうものは何もなくて、ただ心に伝わり響いてくる波動、エネルギーを感じ信じていくことは、肉、肉で生きてきた鈍感な私には、実際のところ、本当に難行苦行でした。

しかし、何時の頃からか、この肉を纏（まと）っている私、この私以外に存在している私というものを、私は心で感じるようになってきました。

肉の私が思っていることと、何か違うことが私の中から伝わってくる感覚が、正しい瞑想を重ね

ていく中で、はっきりとしてきたんです。

そして、おそらく、その時点で私が母の温もりを心に感じていなければ、その私の中から伝わってくる思いは、また巧妙にブラックの世界とすり替えられていたに違いないということも、自分の心で分かってきました。

知らずのうちに、己を前に出していく、己を掲げていく危険性と、その落とし穴に自らはまっていく恐ろしさ、愚かさです。

だから、いかに、母の温もりが大切なポイントであるのか、私はそのところを無事クリアできたから、混乱なく、今を迎えているんだと思っています。

今、私は、瞑想をして、どんなに凄まじいエネルギーを感じようとも、それは私の中ですでに喜びと化し、温もりに帰っていくエネルギーであることを確認済みです。

心を向けていけばいくほどに、私の中の愛のエネルギーが応えてくれる喜びを感じています。

だから、私にとって、瞑想はただただ喜びです。

思う喜び、思える喜び。ともにある喜び、通じ

合える喜び。
　一つの肉体を持たせていただいたことに、限りない優しさを感じています。

【瞑想より】

① 愛はすべての意識に存在しているエネルギーです。本来はすべての意識達は愛そのものなんです。
　しかし、肉という形を持つ意識は、その本来の姿を遠く、遠く置き忘れてきました。そして、肉という形を指して、自分だと思ってきました。
　その形のある世界を現実のものとして、そこで生活をしていくうちに、一番、二番、そして、誰よりも幸せに、誰よりも権力を、誰よりも富を、誰よりもパワーをという思いを膨らませていきました。
　本来の自分の姿、愛、そのエネルギーを忘れ去った人類が、その愛のエネルギー、本来の自分達に

帰っていくことはとても困難なことです。

　しかし、ここに、すべての意識達に気付きと促(うなが)しを与えていく「意識の流れ」という目に見えない流れが厳然(げんぜん)としてあります。

　この「意識の流れ」は、すべての意識達が愛に帰る道を突き進んでいくように流れています。ともに、ともに帰る道をただただ「意識の流れ」は伝えてくるのです。

　そこで、私達が愛に目覚めるために何が必要なのかを考えてみましょう。

　日常生活の中で、あなたは何を一番大切にしていますか。

　お金ですか。人との繋がりですか。それとも神、仏の力ですか。

　あなたの幸せとは一体何でしょうか。そういうものにまつわるものを手に入れることが、あなたの幸せに繋がっていくのでしょうか。

　そのところから、もうすでに私達は道を間違っているのです。

　幸せとは何か、喜びとは何か、温もりとは何かと、自分に問いかける時期に来ています。

ところで、あなたが、転生ということを知っておられるか、また信じておられるかということがありますが、私達人間には、生まれて死んで、また生まれてくるといった転生の歴史があることは事実なんです。

しかも、その私達の転生のすべてが失敗でした。

すべてを捨て去って、つまり、本来の自分を遠くに、遠くに追いやり、偽物の自分達ばかりを大きく膨らませてきた時間、それが私達の何億年もの転生でした。

そんな数知れない自分の転生、自分の失敗の転生から、どうぞ、本当の自分を知っていく方向に、今世こそ、あなたの心を向けていってください。

数知れない転生は、あなたの心の中で、明るい陽射しが射してくるのを今か、今かと、待ち侘(わ)びています。

そんな心の叫びとでも言うのでしょうか。心からの叫びに耳を傾け、心を傾けられるような人間に蘇(よみがえ)ってください。

温もりと優しい愛溢れる思い、そして、喜び。それが私達の本当の姿です。本当の私達は愛のエ

ネルギー、愛のパワーに満ち満ちています。
　愛を全く取り違えてきた私達だったことに、一人でも多くの方が、そして、一日でも早く、自分の心で気付いていくことが待たれています。

②「**あなたは愛です。**」
　このメッセージが、どなたの心の中にも絶えず流れていることを知ってください。
　私達は、心の中に、愛、喜びのエネルギーをたくさん、たくさん持っているんです。その喜びのエネルギーをどんどんどんどん噴き出していってください。
　日々の生活の中では、あなたが作ってきた凄まじいエネルギーが、飛び出していくでしょう。
　しかし、それは本来のあなたは喜びだからです。
　あなたが愛だから、だから、愛のエネルギーであるあなたが、間違い続けてきたあなた自身を解き放していくんです。
　あなたがあなたを解き放していく喜びの道、そ

れが私達の人生でした。
　肉を持ってきた人生でした。数々の転生はそのためにありました。
「あなたは愛です。私は愛です」ということに目覚めるために、私達は、これまで、たくさん、たくさん、この地球上で転生を繰り返してきました。
　その一つ一つが愛に目覚めるための時間と空間でした。

③ 自分を救っていくことができる力、パワーが、自分の中には溢れている、それがあなた自身です。

　あなたの中に愛が溢れています。愛はあなたの中から、尽きることなく溢れ出てきます。
　それを信じているか否かです。信じられる状態であるか否かです。
　簡単なんです。
　そして、今、信じていなければ、信じられない状態であれば、あなたは苦しみの底にあるということです。

肉としてのあなたが、今どんなに幸せな中にあっても、意識の世界、つまり、あなたの現実は、苦しみの中にあるんです。それはみんな死ねば分かります。

私達は、その苦しみをどのようにしていくか、その課題を抱えて、これからの時間を経ていきます。

そんな中で、あなたの中の愛、本当のあなたは、ただ待ち続けるだけです。その本当の自分に思いを向けられないということは、自分に冷たい、冷酷無慈悲な人間だということになります。自らを苦しみの中に沈めて平然としているのだから。

優しい微笑をたたえながら、周りに施しをどんなに与えても、本当は冷血人間です。表面上の形だけで判断してはいけません。

私は自分に優しいです。何としても自分の中を救っていこうという決意を秘めて生まれてきたことを知ってきました。母の温もり、母の意識は私の心に充分に届いています。

だから、意識の世界にある私は、逆戻りは絶対にしません。後ろ向きになれと言われてもなりません。

私は、私の中の愛が私を引導していることを心

で感じています。
　だから、私は、私の意識の世界は、もちろん、その中核から逸(そ)れるはずはないけれど、肉の世界における、いわゆる一人の人間としても、人の道というものを、踏み外すことはありません。
　本当の愛が心で分かってきたならば、そんなことはしないんです。できないんです。するはずがないんです。
　だから、人間がみんな、自分の中の愛に目覚めていけば、規律、規則、道徳等々は、無用の長物ということになります。
　そのようなもので自分達の心を縛らなくてもいいことが分かってきます。

④ 愛のエネルギー、愛の力、真実の愛の力。それが、これから地球人類に色々な事を通し、色々な場面で示されていくでしょう。
　本当の愛とは何なのでしょうかという問いかけです。

本当の愛とは自らを目覚めさせるエネルギー、パワー、それが愛なんです。
私達は愛である。これに目覚める力、パワー、その愛のエネルギーは、溢れています。
ただ、残念ながら、これは形の世界にとらわれている心からは、全く分からないことです。全く感じられないことです。
私達は、偽物の愛ばかりを大きく膨らませて、その偽物の愛の中で苦しみ喘(あえ)ぎ続けてきたんです。それが私達人類の膨大な心の歴史でした。
愛、私達が知っている愛は、憎しみの裏返しです。その愛のエネルギーは、殺戮(さつりく)のエネルギーでもあります。
私達が間違って作ってきた世界の中における愛、そのエネルギー。
どんなに言葉を飾ってみても、どんなに綺麗事(きれいごと)を言ってみても、そこには、憎しみ、呪い、そのようなどす黒いエネルギーが渦巻いているんです。
そのエネルギーを愛という言葉で覆(おお)い隠し、私達は中身が分からなくなってしまいました。
「愛とは優しさ、永久に続くもの」「永遠の愛」、

綺麗な言葉です。

しかし、そこから流れてくる波動、エネルギーを心に感じられる人は感じてみてください。

人類が作り続けてきた愛のエネルギー、その波動はいかなるものなのか。その愛は偽物でした。

愛のエネルギーは、作り続けるものではなく、もともと存在していたものでした。そして、そのもともと存在していたものが、私達だったんです。私達は、もともと存在していた愛の中に生きていました。

愛を求めなくても、私達自身が愛だった。

しかし、このことになかなか人類は気付けなかったんです。

だからこそ、自分の外に愛を求め、何億年、いいえ、もっと、もっと長い間苦しみ続けてきました。

偽物の愛は必ず裏切ります。そして、裏切られた私達は、さらに地獄を作っていくんです。その中では、憎しみの思いが募ります。

呪い、憎しみ、殺戮、破壊。

言葉通り、そのエネルギー、波動は闇黒です。

闇黒の中で、私達は愛を探し求めてきました。

求めても、求めても、得られませんでした。しかし、だからこそ、さらに求めてきたんです。

その求めること、そのことが間違っている、間違ってきたんだということには、なかなか、なかなか気付けなかったんです。

愛は求めて得られるものではありません。愛は与えられるものでもありません。

愛は私達自身。私達自身が愛そのもの。その愛そのものの自分自身に目覚めていくこと、そんな自分自身を本当に思い起こすこと、それが数限りない転生の中で示されてきたことでした。

しかし、誰も本当の愛に辿り着けませんでした。たった一人も辿り着けませんでした。この世に、愛の人なんて存在しません。

私達は、愛が分からなくなり、自分が分からなくなり、ただ狂い続け、苦しみ喘(あえ)ぎ続けてきたんです。そんな自分達の心の歴史を、ほんの少しでも垣間見ることができたならば、今の人生、どんなにすごいチャンスに恵まれていたかが、ご自分の心で分かります。

愛を思い、愛に触れ、愛を広げていく。すべては本当の自分に帰る道。それが、私達が自分に決めてきた道筋です。

自分に帰る、本当の自分に帰る、この喜びの道を心で見つけ、その道を一歩、一歩、歩んでいく確かな喜びを、心に広げることができたならば、どんなに幸せか、どんなに嬉しいか、あなたの心で感じてみてください。

もう、まもなく、愛のエネルギーが、もっと、今よりもっと、さらにもっと、いいえ、全く想像もできないほどの強さ、深さ、広さで私達に目覚めを促（うなが）してくれます。形は、崩壊（ほうかい）でしょう。

しかし、そこから感じ響いてくる波動はプラスです。

プラスのエネルギーが働いていることを、しっかりと心で受け止め、心で感じ、すべてが愛に帰る喜びのエネルギーだと、心で味わっていきましょう。

小さな、ちっぽけな世界に自分を押し留めていることに、気付いてください。そんな中から自分を解き放してください。

◇

⑤ 波動、喜びと温もりの波動、エネルギーを心に感じてくれば、生きる目的も、存在している意味も、これまでとは全く違うと、自分は間違っていたと、はっきりとしてきます。はっきりと分かってきます。

そして、肉というもの、つまり、自分の生活、家族、仕事等々、肉というものを間違ってとらえてきた、その活用方法を間違えてきたと分かります。特に、愛というものに対しての認識というか、そういうものが一変します。

夫婦愛とか家族愛とか、そこで言われている愛とは何でしょうか。

私達は、愛を知らずにこれまで生きてきたのではないでしょうか。

本当に薄っぺらな愛を、これこそ本物の愛だと思い込んできただけのことではないでしょうか。

あの人（神）は私の命、だから私のすべてを捧げられる、そう思える、そんな人（神）に巡り会った。だから、喜び、喜びの人生でしたでしょうか。

自分の過去を紐解(ひもと)いていけば、そうではなかっ

たことが歴然としてきます。

自分の中の湧きいずる愛のエネルギー、そして、それが自分だったという真実に辿り着けない人は、どんなに時が巡っても、自分の外に愛を探し求めていくのです。

それが苦しみとなって、自分に戻ってくることを、何度も、何度も体験、経験しているにもかかわらず、過去と全く同じことを繰り返していきます。それはなぜでしょうか。

自分の本当の姿を見失ったままだからです。

どうでしょうか。愛のエネルギーが自分の中にあることを信じていこう、愛である本当の自分を知っていこう、そんなふうに、段々に思えるようになってこられましたでしょうか。

みんな、これまでに、楽しいことや嬉しいこと、幸せだと思えることも多々経験されてこられたでしょう。

そしてまた、心温まる人、出来事との出会いも

あったでしょうし、これからもあると思います。
　しかし、それと同じくらい、いいえ、それ以上に、悲しいことや辛いこと、悔しいことなどもあったのではないでしょうか。
　だから、人生は、悲喜こもごもなんでしょうか。
　いいえ、人生は喜びなんです。人生は喜びだけなんです。
　悲しいことや、辛いことは、自分に、自分の中に本当の喜びと幸せ、本当の愛があったことを伝えています。
　だから、悲しいことをただ悲しいと、辛くて苦しいことをただ辛い苦しいと自分の心を暗く沈めていくのではなくて、そこから自分を解き放していける力が自分の中にあったことを知ってください。
　そして、愛に帰る道を、ただひたすらに歩いていきましょう。
　肉、形を本物とする思いをとても、強く、強くしてきた人類のこれからには、大変厳しい現象が待っています。
　しかし、私達は自分の中の愛に目覚めていかな

ければなりません。

それが、私達人類が自分で決めてきた道筋です。なぜならば、本来の私達は愛だからです。

愛に目覚めることとは、本来の自分を取り戻していくこと。

それはとても自然なことです。特別なことではありません。

その本来の自分を忘れ去ったから、私達は、とても、とても苦しみの中にありました。

肉、形を纏（まと）い、どれだけの幸せと喜びを心が感じようとも、私達の地獄は永遠に続いていったのでした。

なぜ私達はこのように肉体という形を持ってきたのか。持っているのか。

その意味を心の中ではっきりと分かる人はまだごく少数です。

そんな中で、何が私達を愛に目覚めさせるのか。

私達の愛のエネルギー、愛のパワーが、自らに気付きを起こさせるんです。それが天変地異のエネルギーです。

天変地異のエネルギーは、自らを目覚めさせる

愛のエネルギー、パワー。
　今は、そのようにお伝えしても、殆(ほとん)どの人は、全く正しくは受け取れません。
　それほど、肉、形を本物とする思いが際立って強いのです。

「なぜ私達は、自分の姿を見失ってしまったのか。なぜ私達は自分を見捨てたのか。
　狂いに狂ってきた私達なのに、なぜ肉、形を纏(まと)えば、その自分の地獄を忘れていくのか。
　自分の世界を感じていきなさいと、自らにサインを送り続けているのに、なぜ私達はそれを素直に受け取っていけないのか。自分に対する警告だと真正面から素直に受け取っていけないのか。」
　堕落(だらく)しました。本当に堕落(だらく)してきました。
　自分を忘れ去ったなんて、本当に堕落(だらく)の一途を辿ってきたんですね。
　そして、これからも、まだまだその道は続いていくでしょう。
　一人ひとりが自分の中でその歯止めをかけなくてはなりません。

母の温もり、自分の中の愛を心に思い起こす日は、必ずやってこなければならないんです。そうは思いませんか。

自分を自分で捨て去り、自分を自分で見限り、そして、私達はどこへ行くのでしょうか。

心で感じ始めたならば、その感じたものを、どうぞ、信じていってください。私達は自らを捨てたこと、私達は愛を捨てたこと、愛を捨て、自ら地獄へ落ちていったこと。心で感じ始めたならば、本当に真剣に自分の心を、自分自身を取り戻していきましょう。それが愛に帰る道です。

愛に帰る道は苦難の道であるけれども、喜びの道です。確かに喜びの道です。自分を取り戻せる喜びの道。しっかりと信じていってください。

私は、本当の優しさを知っています。本当の温もりを知っています。本当の喜びを知っています。

本当の優しさ、本当の温もり、本当の喜びは、肉、形を本物だとするところからは絶対に分かりません。

「**肉を自分だとするところから、本当の愛は分からない。**」

このことを、それぞれの心で証明できれば、人生万々歳です。

愛（本当の自分）に目覚め、喜びの人生を生きていきましょう。

第2章

愛（本当のあなた）を発信しよう

「私達は、何のために生まれてくるのか。」

これは実に大切な問いかけです。この問いかけに、どうぞ、自分の心で答えられるあなたであってください。

立派な人とはどんな人を言うのでしょうか。賢明な人とはどんな人を指すのでしょうか。

どうぞ、皆さん、自分の心の中にしっかりと針を向けてみてください。自分の心の中を覗いてみてください。自分の中のエネルギーを感じてみてください。

本当は、私達の中は、喜びと温もりのエネルギーだけでした。

私達は愛そのものだったんです。しかし、今、このようにお伝えしても、一体どれだけの人がそのように感じておられるでしょうか。

あなたの心の中を覗いたとき、今、あなたは、自分がどんなに凄まじいエネルギーを抱え持っているか、感じられますか。

色々な人と関わっていく中で、そして、色々な出来事が起こる中で、自分の心に上がってくる思いを見ていく習慣をつけてください。

何を言っても、どんな態度を示しても、言った瞬間、動作をした瞬間に出すエネルギーを確認してください。

そして、日常生活の中で、自分の中の凄まじいエネルギーを知っていくことができれば、それはただただ喜びなんだと知ってください。

人を見下し、自分を掲げる思いが見えたとき、喜びです。

その他、こんなのはありませんか。

みんな、あなたを思って私は言っているんです、やってきたんです、と自分を正当化する思い、相手を自分の思いのままに動かしていこうとする思い、相手に怒りをぶつけている自分の姿等々。

そんな自分の思い、自分の姿を、日々の生活の中でどんどん確認してください。

確認できることが喜びなんです。

私達は愛の中にあるから、そんな自分の地獄を確認できることが喜びなんです。

地獄？　そうです、地獄です。

喜びと温もり以外の思いは、みんなみんな地獄の思いです。その認識をしっかりと持ってください。

私達は、地獄の中にある自分をはっきりと知って、そして、その地獄からの脱出を成し遂（と）げるために、生まれてきたと言えるでしょう。

呪いと恨み、怒り、比較競争、嫉妬（しっと）、見下し、我一番、そんなエネルギーばかりを、闇黒の、真っ暗な、どす黒いエネルギーばかりを、自分の中に溜め込んできたんです。それが私達でした。

どうぞ、そんな自分と真向かいになって、そんな自分を救ってください。

救うということは、自分が自分に本当のことを伝えるということです。救いの手は、あなたの外にあるのではありません。

救いの手は、あなたの中の温もりと喜びのエネルギーです。愛のエネルギーであるあなた自身です。

誰も、何も、あなたを救うことなどできません。あなたがあなたを救っていくことができるんです。

あなたの中の優しさ、温もり、喜びを、あなたの心で知ってください。

あなたは、すべてを包み込む大きな存在であること、そのことを自分の心で知っていくために、今があるんです。今の環境があるんです。今の肉

体があるんです。

私達は、過去、どんなにしても、本当のことを自分に伝えることができなかったんです。本当のことが分からなかったからです。

だから、狂い続けてきたんです。狂い続け、苦しみ続けるしかなかったんです。それを心で分かってください。

分かったうえで、だからこそ愛を復活させましょう。

本当の自分を復活させるために、こうして、肉体を持っていることを、どうぞ、心で感じられるようになってください。

心で感じていくんです。心で感じたものは、あなたを絶対に裏切りません。分かりますか。自分の心で感じるということは、それほどのものなんです。心は知っています。私達は知っています。愛を知っているんです。本当の自分を知っているんです。

だから、私達は、今、ここに、こうして存在しています。一つの肉体を持って存在しています。

愛が、本当の愛が何かを、自分の心で分かっていったならば、どんなにこの時を待ち望んできたか、待ち続けてきたか、あなたの心がきっとそのように応えてくるでしょう。

一日のうちに、あなたは何回、ありがとう、嬉しいという思いを発信していますか。
どうぞ、自分自身にありがとうの思いを向けてください。
自分にありがとうと心から言えますか。言ったことがありますか。
優しい、優しいあなたを感じてください。温もりのあなたを感じてください。あなたの中にある優しさ、温もり、喜び、広がる心、そんなあなた自身をしっかりと心に感じていきましょう。
時間に追われる忙しい毎日を過ごされている方もあるでしょう。目の前のことにだけ心を振り向け、それで一日が過ぎ去っていくという人もいるでしょう。そういう人達も、いつか、どこかで、必ず、気付きと促（うなが）しを受けていきます。愛は、滞りなく流れているからです。

その愛をせき止めているのは自分だったと気付き、心で知った人から、自分の中の愛とは程遠いエネルギーを、まず自分の中で確認して、そのエネルギーを、本来のもとあったものに変えていきましょう。

その変える力、パワーを私達は秘めていることを知ってください。

あなたは愛なんです。肉のあなたは愛ではありません。あなたの本質が愛だから、そのあなたに目覚めていけば、愛は流れていきます。

その愛の波動を心に感じ広げていく瞑想の時間を、できる限り持ってください。

私は、日々、正しい瞑想をして、私をしっかりと感じています。私は、私の中で、私と話し合っています。

私にありがとうと伝わってきます。私は、本当に嬉しいです。

「愛があなたです。愛があなたです」、そのように伝えてくる波動の中で、私は、心を大きく広げ、私は私を受け入れていくことができるんです。

そのことを喜びで確認しています。

愛（本当の自分）が私に語ります。

「あなたは愛です。喜び、喜びのあなたをしっかりと広げ、そして、その中へすべてのあなたを包み込んでいくんです。

あなたの中の喜び、あなたの中の温もり、あなたの中の広がりを感じてください。

すべてが待っていました、この世界に帰れることを。

今、あなたのその肉を通し、伝えています。伝えられる私は喜びです。

喜びの私はあなたの中に存在していました。遥か、遥か、昔からずっと、あなたとともにいました。」

私達は愛です。すべての意識が愛です。愛のエネルギーは仕事をします。プラスの仕事をします。

では、プラスの仕事とは何でしょうか。

間違ってきた思い、いわゆるマイナスの思いをプラスに変えていく仕事です。

それは、具体的にはどういうことでしょうか。

形を崩していきます。

愛（本当の自分）に目覚めるためには、私達の心の中にある、肉が本物だとする他力の世界を崩していく必要があります。

他力の神々に手を合わせ、自分達の繁栄と安泰を祈り、願い、そして、他力の神々に力を与えたまえと頭(こうべ)を垂(た)れ、跪(ひざまづ)き、心を売った愚かな自分達の世界を崩していく必要があるんです。

愛に目覚めていけば、さらに私達の心の中からその愛のエネルギーが流れ、自らをどんどん崩壊(ほうかい)させていくんです。他力の世界を崩壊(ほうかい)させていくんです。他力のエネルギーでがんじがらめになった自らの世界を、さらに、さらに崩壊(ほうかい)させていくんです。

その崩壊(ほうかい)があって、さらに愛のエネルギーは流れていきます。

太く、強く、しっかりとした流れになって、どんどん他力の世界を崩していきます。

このような喜びの良き循環の中に、自分をいざなっていくことが待たれています。

しかし、自分の中の愛に目覚めていない人からすれば、その崩壊は、決してプラスには受け取れないです。決して喜びとは受け取れないです。

形ある世界が本物であり、そこに自分達の生きる喜びと幸せを追い求めていく人達には、形の世界の崩壊、自分の崩壊は、どこまでいっても恐怖と呪いです。自らを呪い、自ら地獄に落ちていく道を選んでいきます。

どうぞ、ここでしっかりと踏み留まって、愛に帰っていきましょうという呼びかけに素直に反応してください。

あなたの中にある深遠な闇の世界を、自分の中でしっかりと見つめ、それを受け止め、そして喜びへ、温もりへ帰ろうと自らに伝えるそのパワーを、本当に心から信じる信を培っているか否か、それがあなたのこれからを左右していきます。あなたがあなたを左右していくんです。

すべては心の世界の出来事です。自分の心の中の出来事です。誰が、何があるわけではありません。

あなたはあなたを救いゆくことができます。そ

れが真のあなたのパワー、エネルギーだと言っています。それがあなた自身です。

それをどこまで信じていけるでしょうか。それとも信じられずに、また、その肉を置いていくのでしょうか。すべては自分にかかっています。

そして、あなたは、また次の転生の機会を得るかもしれません。いいえ、転生の機会はあるでしょう。

しかし、その転生はどんな転生でしょうか。その時に、一体、どれだけのことを自分に伝えることができるのでしょうか。

どうぞ、自分の心を見ることを知った人から、真剣に真摯に誠実に、自分と真向かいになっていってください。

愛溢れる自分を蘇(よみがえ)らせること、それ以外に、幸せ、喜びの道はありません。愛に帰る道を自ら選び取ってください。

【瞑想より】

① 心で感じられる確かな世界、これが私の世界でした。お母さん、ありがとうございます。私の中の愛を思い瞑想をしています。私を思い瞑想をしています。

私の中の愛が語ります。私は嬉しいです。

「宇宙へどんどんどんどん思いを向けていきなさい。ただただあなたの優しさ、喜び、温もりを、そのエネルギーを流していくんです。愛を流していくんです。

心の状態を感じてください。あなたはもう、思えば通じる世界を心で感じています。喜び溢れるあなたを心に感じています。

温もりの自分が、本当の私がここにある、これが私なんだと、あなたが私に伝えてきます。

その波動、エネルギーを、どんどんどんどんあなたの中の宇宙へ流していくんです。まだまだ、まだまだ真っ暗な闇黒の世界が待っています。

その闇黒の世界へ、どんどん思いを向けることが喜び。そう喜びです。」

本当に待っていたんです。待ち続けていました。
愛を伝えてくださいと心の中が叫んでいます。ああ、だから、このように、私は思いを向けています。宇宙と思うだけで嬉しいです。
解き放たれていく喜び。優しさに触れていく喜び。どんなにしても分からなかった、感じられなかったこの世界を、今、私は自分の中に広げています。私の中にありました。
今、私は自分の中をしっかりと感じ、この喜びを伝えています。
私達は愛でした。愛しかない世界が私達の世界でした。
私は、そのように自分の中にメッセージを送り、さらに瞑想を続けます。
温かい、温かい中で、異語で語り合える喜びが心に広がっていきます。
この波動、エネルギーを感じ広げていけることが喜びです。

◇

② 愛のエネルギーに生かされている私を思います。

限りなく優しい温もりの中に、私は生かされ続けています。

私はこの中にあったんです。このエネルギーが私でした。私は、今、自分を感じています。愛のエネルギーを感じています。愛のエネルギーが仕事をするんです。それが私の喜びです。

私は、この喜びを心の中に広げ、このエネルギーを全宇宙に流していける存在です。

愛を思い瞑想を続ける私の中には、私は喜びです、私は温もりですと、こんなに大きな、大きな愛の中に生かされていたことを心に感じる日々です。

私は愛。あなたも愛。すべては愛。愛の中に一つだったことを思い出していきましょう。エネルギーです。愛のエネルギーがこの地球上に降り注いでくるこれからの時を、私は心に感じています。

宇宙が変わっていく喜びです。すべてが変わっていく喜びです。

もちろん、その変わっていく中で、相反するエネルギーもまだまだたくさんあります。そのエネルギーは宇宙の塵（ちり）となり、どこまでも、どこまでも落ちていきます。

そして、それが自分達の過ちだったということに気付かない限り、その塵（ちり）となった意識達は、宇宙に彷徨（さまよ）い続けます。

意識の流れは、愛のエネルギーを噴き出していきます。私達はそのエネルギーを心に感じるんです。これからの時間、心の中に私達は愛のエネルギーを流してまいります。

ありがとうございます。田池留吉、アルバート。

その意識の世界との出会いがあって、私はとても喜びです。私のこれからはこのようになっていくことを、私は感じています。すべては意識の流れの計らいです。私はその流れにただただ、ただただ、素直に従っていくだけです。

③ 愛を思います。

「ありがとう、ありがとう。私は愛。あなたの中の愛、喜びのエネルギーです。愛を流せる存在に私はなっていきます」と心の中に伝わってきます。

愛を流せる存在でした。私は闇を流す存在ではありませんでした。

私は愛を流せる存在でした。優しい母の温もりと喜び、限りない優しさを心の中から流していける、それが私のエネルギー、私自身だったんです。すべてがここにありました。私は私を思ったとき、私の中から喜びと温もりがどんどん湧いてくることを体験しています。

自分の中にすべてがあったことを知った私にとって、このように感じられる今がすべてでした。私の中にすべてがありました。

私の中の愛は、田池留吉、アルバートの意識でもあります。

愛を思い瞑想をしていると、その意識の世界から伝わってくる思いがあります。

「愛を思い瞑想を続けている日々でしょう。あな

たは、あなたの中の愛が語ってくることを、私が語ってくることを感じ、あなたの中の優しさ、温もり、広がる心、その喜びのあなたを感じる日々を送っていると思います。そして、あなたは心をどんどんどんどん宇宙に向けていく日々を過ごされるでしょう。

　私はあなたの中で心から喜んでいます。心から喜んでいる私、田池留吉、アルバートの意識です。

　ともに、ともに仕事ができる喜びを私はあなたに伝え続けます。

　私は波動としてあなたの中に存在しています。エネルギーとしてあなたの中に存在しています。愛のエネルギーです。愛のパワーです。

　ともに、ともに次元移行へ向けて心を一つにして、仕事をしていくことが喜びです。

　私の世界を呼びなさい。私、田池留吉、アルバートの世界を呼び、愛の方向に心を向け、あなたの中からエネルギーを発信します。そのエネルギーが仕事をします。あなたの中で仕事をします。私達はともに仕事をします。そして、私達は喜び、温もりの世界に、一歩、一歩近づいていくんです。

心の中をしっかりと見つめていくことは、もちろんです。

そして、あなたの中の喜び、温もりが、大きな、大きな仕事をしていく喜びを通して、あなたの存在を知っていきなさい。

あなたの中のエネルギーを全開していくこれからです。

私達は二五〇年後の出会いを、今、心に感じています。心に伝えています。ともに、ともに歩める喜びだけをあなたに伝えています。

私達は喜びでした。私達は温もりでした。私達は愛でした。

そのようにあなたに伝えている愛（本当の自分）の存在を、しっかりと心で感じながら、あなたの歩みを進めていくことです。あなたの仕事はそれだけです。

あなたがなさることは、愛のエネルギーを広げていくこと、愛のパワーを広げていくことです。

ともに、ともに、宇宙へ帰る喜びを今、心に感じています。」

◇

　ところで、今のメッセージの中で、次元移行であるとか、ともに仕事をしていくとか、二五〇年後の出会いとかの表現に違和感があるという人もあるでしょう。宇宙という言葉もそうだと思います。

　宇宙については、第一章で、本書においては、意識の世界を指しているとだけ触れました。詳しくは、拙著『宇宙の風』を参照していただければと思いますが、やはり、ここで、今、私達がどのような状況の中にあるのかということに、少々触れておくほうがいいと思いました。

　記(しる)してきましたように、意識、エネルギーとして永遠に存在していく私達ですが、今は、三次元という中に、こうして肉体という形を持って、地球という星で生活を営んでいます。

　繰り返しになりますが、過去、私達は、この地球上で、数限りない転生の機会を持ってきました。自分達の本当の姿を知らずに、生まれて死んで、

また生まれてという繰り返しをやってきました。

なぜ、数限りない転生を繰り返してきたかということについても、これまでに何度も記(しる)してきましたように、自分達の本当の姿に自ら気付いていくためでした。

そして、それはこれからもずっとまだ続いていくのかと言えば、実は、もう、そろそろ終わりに来ているということなんです。

次元移行という言葉からも分かるように、私達は、今の三次元から次の次元へ移行していく計画の中にあります。

私達は、次元移行までの時間が、二五〇年、三〇〇年だとお伝えしています。

何億年と地球上で転生を繰り返してきた私達に、残された時間は僅(わず)か三〇〇年です。

だから、今という時間、今世、自分達の本当の姿を知らずにいた私達に、「はじめに」の章の太字のメッセージが届きました。

今世、田池留吉、アルバートという真実の世界から、一つの肉体（田池留吉氏）を通して、メッセージがあったんです。

田池留吉氏は、これまで二十年余りの年月、このメッセージをひたすら伝え続けてくれた人です。

今、田池留吉氏が、セミナーを通して伝え続けてくれたメッセージの内容（波動）を、それぞれが自分の心で知り信じていく方向に進んでいます。

その集大成が二五〇年後なんです。

それまでに、私達は、それぞれ何度かの転生を経ていきます。

そして、二五〇年後に出会い、それから約五十年かけて、次元移行を果たしていきましょうという「意識の流れ」の計画です。

もちろん、私達というのは、今、セミナーに集っている人達という狭い範囲の中で限定されているわけではありません。

この「意識の流れ」の計画は、すべての意識達にあるんです。

言い換えれば、この計画の中に、すべての意識達があるということです。

本当の愛のパワーに触れ、愛のパワーを全開して、ともに、ともに次元を超えていこうと呼び掛けていく流れ。その流れが「意識の流れ」です。

その流れに乗ってください、乗っていきましょうということで、本書を出版する運びとなったのです。

ただし、それには、自分の心を見て、「はじめに」のところの太字のメッセージを自分の中で実現していくことが、何よりも、何よりも必要なことは言うまでもないことです。

肉の喜びと幸せを求めていく心の中に、意識の流れは届きません。

いいえ、届いているのですが、肉の喜びと幸せを求めていく心が遮ってしまうのです。

私達は、意識、エネルギーです。肉ではありません。

肉の喜びと幸せ、私達の求めるところは、そんなちっぽけな世界ではありません。

助けてください、救ってください、何とかしてください、パワーをください、私もともに行きたいです。そんな声、思いに応えることはできません。しっかりと心を見て、自分の中に愛があったことを知ってください。

ここで、「意識の流れ」の計画の中に、すべての意識達があるということについて、少々補足しておきます。

私達の中には、こうして、肉体という形を持って、つまり、三次元での転生を重ねてきた心の歴史、意識の世界がありますが、私達の中には、三次元以前の歴史もあります。

そもそも、意識の世界というのは無限の世界ですから、三次元を含むすべての次元の自分達の意識の世界があるわけです。それをＵＦＯとか、宇宙という言葉で表現しています。

三次元にやってきた私達には、その中で真実の世界を知っていくという計画があったのです。

それは、三次元にいる自分にも、そして、それ以前の自分にも、本当のことを伝えていく計画でした。しかし、その計画は、なかなか、なかなか遅々として進みませんでした。

そんな中で、私達は、ようやく今世の時を迎えたというわけです。

つまり、真実の世界から、三次元にいる私達に、直々にメッセージを届けてくれたから、私達は、

ようやく真実の世界へ一歩近づいていけることになったんです。

今世、真実の世界からメッセージを届けてくれた意識は、田池留吉と名前が付きました。

そして、集大成の二五〇年後に、再び、真実の世界から、肉という形を持ってきます。その名前がアルバートなんです。

田池留吉、アルバートの世界が真実の世界だというのは、ここから来ています。

三次元にいる私達には、田池留吉、アルバートという意識の世界と出会って、自らを目覚めさせ、愛（本当の自分）を自分の中の全宇宙に流していける自分に蘇（よみがえ）っていこうという計画があります。

その計画をきちんと遂行（すいこう）していくことが、ともに仕事をしていくことになります。

全宇宙に向けて、「ともに次元を超えていきましょう」とメッセージ（波動）を発信することが、田池留吉、アルバートの意識の世界とともに仕事をしていくことだと言えるんです。

以上、今、私達がどういう状況の中にあるのか

ということについて、語ってみました。

それで出てくるのは、では、こういうことは、何を根拠に言えるのかということでしょう。

答えは簡単です。

その根拠は、それぞれの心の中にありますということです。

肉が自分だと思って、その肉の喜びと幸せを得るために、日々、奔走している人達は、自分の心が常に外へ向いています。

だから、これは、心を中に向ける習慣のない人達にとっては、一笑に付される回答ですが、肉が自分だとする基盤と、意識が自分だとする基盤は全く違いますから、それは仕方がありません。

肉から意識へ基盤を変えてくださいとしか言えないんです。

しかし、そういう人達も、心を中に向ける習慣を持っていけば、つまり、自分はどういう存在か、自分はなぜ生まれてきたのかというところから、母の反省と他力の反省に繋がっていき、正しい瞑想を心掛けていけるようになれば、自分の中から明瞭(めいりょう)に答えが返ってきます。

本当の自分からのメッセージとして、自分の中に届けられます。

ぜひ、実証あれと希望します。

肉という壁を崩壊（ほうかい）していきましょう。肉というものは、今、心の中に感じている確かな世界をただただ素直に、素直に受けて、そして、それをそのまま流して、ともに喜んでいければ、それでいいんです。

肉の人間は愚かです。しかし、そのように肉を使っていける人は、幸せ、幸せな人生を歩いていけるんです。

あなたも、そしてあなたも、それをご自分の心で証明できるような、そんな日が一日も早く来るように、私達は心待ちにしています。

第3章

愛（本当のあなた）とともに帰ろう

前章に書きましたように、私達すべての意識は、意識の流れの計画の中にあります。その計画とは次元移行です。

私達は、今のこの三次元から次の次元へ移行して、自分達の真なる姿に、さらに近づいていこう、私達のたった一つのふるさとである、母なる宇宙（＝愛）へ帰ろうという自分自身からの呼びかけ、いざないの中にあるんです。

この意識の流れというのは、もちろん、川の流れのような目に見える流れではありません。しかし、厳然（げんぜん）としてあります。粛々（しゅくしゅく）としてあります。それは、粛々（しゅくしゅく）と、そして、ゆったりと、すべての意識達をその流れの中に吸収しながら流れているのです。

流れの中に吸収していくというのは、すべての意識達に気付きを促（うなが）していくということです。

つまり、自分達の本当の姿を知っていきましょう、目覚めてくださいというメッセージが、色々な形で、それぞれに届けられるというわけです。

この世的な現象は、みんなそのメッセージが形となって示されたものです。目には見えない意識

の流れですが、厳然としてあり粛々と流れていることを、現象界は証明しています。そして、その形を崩すことにより、さらに証明していきます。

目に見える形ある世界が本物の世界ではないことを、形の崩壊ということで、これから意識の流れは、さらに、強く、強く、私達に気付きを促していきます。私達の中に警笛を鳴らし続けていきます。

まず、形の崩壊を通して、私達が苦しみ続けてきたこと、今も苦しみ続けていること、そして、彷徨い続けてきたこと、今も彷徨い続けていること、そのような自分達だとはっきりと伝えてきます。

そして、なぜ苦しみ続けてきたのか、なぜ彷徨い続けてきたのかを知っていきましょう、知ってくださいと、これからの時間の中で、さらに私達の中を揺さぶり続けていくでしょう。

形の崩壊を通して、私達人間は何かに気付いていくようになっています。そして、そういうふうに仕向けているのは、実は自分達自身だったと、はっきりと思えるような時期を迎えます。

愛（本当の自分）の心を捨て去った私達が、愛（本

当の自分）の心に帰っていく喜びの時が、これから展開されていくんです。

もちろん、自分を自分で捨て去ったのだから、その自分を取り戻していくこと、その自分に帰っていくことについては、大変な痛みを伴います。それでも、自分の中の愛のエネルギーは、どんどんどんどんどん突き上がってくるんです。

愛の中に帰ろう。愛の中に帰りたいと。

愛は私達のたった一つのふるさとだったと。

そんな自分の中の愛のエネルギーが、肉を自分だと思ってきた偽物の自分の思いを悉く、崩壊させていくんです。

さて、あなたは、何を思い、何を喜びとし、何を幸せとしていきますか。これからどのように生きていきますか。

私は、田池留吉、アルバートと呼べる、田池留吉、アルバートと思える、心の針を向けられる喜びを、今世の私のこの肉を通して知りました。

本当に心の向け先を教えていただき、そして、それを自分の心で学習して、自分の中で、田池留

吉に心を向けていくことだけが、本当の安らぎであることを私の心は感じています。だから、私は幸せです。

私は、今、取り立てて何も要らないです。何も要らないけれど、私の生活は整っています。

そして、それよりも、私にはこの心の世界があります。私が私を感じる喜びと幸せを知りました。

私は自分の心に感じるこの世界を私の世界だと、さらに信じて、信じてその確信を深めて、私はこの肉体を置いてまいります。

日々の生活の中においては、私はこれからも自分の時間を淡々と過ごしていくでしょう。

色々な出来事を通して、私の心に伝わってくる波動、エネルギーがあります。心は様々な波動、エネルギーを受けています。

しかし、私はそれを感じたとき、私は私の中に戻ります。

そして、私は自分の心の針をしっかりと愛の方向に向けます。

私の中の喜びと温もりのほうへ向けます。田池留吉を思います。私を思います。本当の私を思い

ます。母に肉体をいただいて、喜びと幸せだった頃の私を思います。

　心に感じるエネルギーは、私の中にブラックとして響いてくるかもしれませんが、私はそのエネルギーを、私の中でさらに大きくするということはありません。同調することもありません。

　ただ、私はそれを自分の中で、静かにしっかりと見て、そして、私はそのエネルギーとともに喜び、温もりへ帰ろうとメッセージを送ります。

　私達の愛の中へ、そのエネルギーを包み入れていきます。

「すべては喜びだった。すべては温もりだった。愛ある世界、その世界に私達は存在していた」と、私は自分の中へ、この思いを伝え続けます。

「**あなたは愛です。**」

　このメッセージを私達はいただきました。伝えていただきました。

　今、あなたはこのメッセージをご自分の心でどのように受け取っておられるでしょうか。

　あなたはあなたの心を見て、自分の中のエネル

ギーを感じて、そして、そのエネルギーを愛の方向に向け、ともに、ともに喜び、温もりの世界へ帰っていける喜びを広げていますか。

それはすべて、自分の心の中の出来事です。あなたに代わって、何かが、誰かが、できるものではありません。

自分が自分に愛のエネルギーを流していけるようにならなければ、何も変わることはありません。それが私達の意識の世界です。

今を生きる喜びを感じてまいりましょう。あなたの中に愛のエネルギー、パワーが満ち溢れていることを伝えています。

喜び、喜び、喜びの人生を歩んでいってください。

形の上で、たとえ、あなたが苦しい、辛い、悲しいと感じることがあっても、それはすべて喜びのはずなんです。そのところをよろしくお願いします。

何のために産まれてきたのでしょうか。

自分を見つめるためです。自分を学ぶためです。自分のエネルギーを感じ知っていき、そして、この意識の流れの次元移行に自分を乗せていくためです。

心を見て、しっかりと答えの出せるあなたであってください。そして、私達とともに歩みを進めていってください。

私は、ともに歩いていく意識達へ伝えます。

ともに、ともに、喜びと温もりを感じ合いましょう。共有しましょう。宇宙が待っていることを伝えましょう。

はい、宇宙へ、宇宙へ心を向け、私達のふるさと、母なる宇宙への思いを募らせていってください。

そのためには、心の中に培ってきたエネルギーをしっかりと見つめていってください。

喜び、温もり以外は、すべてブラックであると伝えました。

心を田池留吉、アルバートに向けて、心に培ってきたエネルギー、ブラックのエネルギーをどんどん噴き出してください。あなたの中で感じてください。感じて確認するのです。

それは、そのエネルギーを広げていくということではありません。確認です。

そして、その確認が本当に終了すれば、あなたの中の喜び温もりで、そのエネルギーを包んでい

くのです。
「ともに、ともに帰りましょう」と、力強いメッセージを流していきましょう。
　私達の喜びはすべての意識達と次元移行をすることにあります。
　本当にその道を極めていってください。厳しく険しい道かもしれません。しかし、私達とともに歩んでいただきたい、私はそのように伝えます。

「私は愛です」と、私は私に伝えています。
「あなたは愛です」と伝えてくれている私に対して、私は、「ありがとう」と受けています。ただただ私は嬉しいんです。
　私は愛だった。私は喜びと温もりの中にあったんだ。私はこうして、自分の中に伝えていけることができるんだ。
　そのことを知って、とてもとても嬉しい。ただただ嬉しい。
　この嬉しさは、私をさらに、自分の中に進めていく大きなパワーとなっていきます。喜びはパワーです。愛、本当の自分に目覚めた喜びは、パワーを発

していきます。エネルギーを発信していきます。
　愛のエネルギー（本当の自分）を発信していけることが喜びなんです。私の中のたくさんの私とともに、ともに歩いていけることが喜びです。

　あなたも、「私は愛です。私は愛です。私は愛です」と自分の中で言ってみてください。そして、愛を思い、瞑想をしていきましょう。
　また、異語を出してください。異語で語る喜びを知ってください。自分と自分の中が、異語で通じ合っている喜びを知ってください。
　異語で語る喜びを感じながら、瞑想を継続していきましょう。素直になって瞑想をしましょう。
　何も思わずともいいんです。ただお母さんとあなたの中で呼んでください。何も思わなくていいんです。ただお母さんを思ってください。

　母の温もりの中にずっと、ずっと抱かれてきた私達でした。
　私達は、今世、田池留吉氏から、心で学ぶことを伝えていただきました。

心で感じ、心に響いてくるものを信じていきなさいと。

母の反省です、母の温もりです、ゼロ歳の瞑想ですと。

そして、私達はそれを継続していこうとしています。

ただ、その一方で、私達には過去から培ってきた思いがあります。だから、自分が作ってきたブラックのエネルギーの中で、私達は、このことをやり続けていくことが、どれほど大変なことなのかも、心に感じています。

それでも、母に思いを向けると、「待っています。待っていますよ」と、心の中に広がっていく思いがあるのではないでしょうか。

どうぞ、その母の思いに素直になって、瞑想を継続してください。

私は今、本当に田池留吉、アルバートと呼べることがただただ嬉しいんです。心の中に響いてくるのは、この喜びと温もりの世界です。

待ってくれていた優しさ、安らぎ。どんなにこ

の時を待っていたことか。そんな思いだけが響いてきます。
　だから、私は、誰に何かを言われたからとか、義務感から瞑想をしているのではありません。私は喜びで瞑想をしています。
　自分の本当の世界、この世界と出会える瞑想の時間は、私にとって、限りない喜びの時間です。嬉しい、ただただ嬉しい安らぎの時間なんです。
　たくさんの間違いを繰り返してきたけれど、私は、今、今の私を感じている、これだけが私の真実なんだ、そう自分に伝え、私とともに存在していける喜びを感じています。
　私は、自分と向き合う静かな時間と空間を自分に用意していることが、自分に一番、優しいことだと感じています。
　ゆったりとした静かな空間、快適な空間の中に肉を漂わせ、ゆったりと静かに自分と向き合う今がある、最高の幸せです。
　そして、その幸せの中で、心の針を向けて合わせて、さらに自分と対話していく喜び、中の自分と対話していく喜びを感じています。

これこそが本当に最高に幸せな人生だと私は感じています。

「あなたは愛です」のメッセージを受けて瞑想をしました。

はい、私は愛です。私は愛です。私は愛です。

心の中からそのように伝わってきます。

私は愛です。私は温もりです。私は喜びです。心の中からそのように伝えてくる私があります。

お母さん、ありがとう。本当にありがとう。心からありがとう。こうして肉体をいただき、私は私の道を歩いていけることを確認させていただきました。嬉しいです。本当に嬉しいです。私は二五〇年後の私とともに、この喜びを、さらに自分の中に広げてまいります。

私は自分の中を本当に知りませんでした。心の中に作ってきたエネルギーがありました。真っ暗な暗闇の中で、私が私をずっと、ずっと閉じ込めてきたんです。私は、そんな自分を心に感じてきました。

今、私は、「あなたは愛です。あなたは愛です」「は

い、私は愛です。私は愛です」と自分に呼びかけ、自分が応えています。

そんな優しい喜びの私を感じていけるんです。これが喜びでなくて何なのでしょうか。

私の中にありました。広がる心がありました。優しい私がありました。優しい私が、心の中に、本当に、たくさん、たくさんありました。

苦しく暗く閉ざされた中で、私は私を本当にないがしろにしてきたけれど、私の中の優しさ、温もり、広がりと出会えました。

こんなにも、こんなにも、出会いを本当の私が待って、待っていたんです。そうです、私は待ってもらったんです。本当の私が私を待ってくれていたんです。

私は今、本当に嬉しいです。田池留吉、アルバートに心を向けたとき、心の中から出てくる思いは、優しさです。どこまでも優しい。

ああ、私は愛でした。本当に愛でした。お母さん、ありがとうございます。

さらに、私の中の愛に心を向けます。私の中の

愛が語ります。

「私は、とても嬉しいです。愛の中にある私を感じます。今、喜びを感じます。

私は、待って、待って、待って、待って、待って、待って、待ち続けてきました。待ち侘びてきました。そして、今のこの肉体をいただきました。お母さんに産んでいただきました。

私は私の中の愛に目覚めるために、このように肉体を持たせていただきました。それが私の予定でした。予定のコースでした。計画でした。その計画を私は滞りなく進めていることに、今、私は私に感謝を表します。

私には、私を救いゆくことができるパワーがありました。」

温かい温もりの中で私は私を語ります。

お母さんの思いが響いてきます。田池留吉、アルバートの思いが響いてきます。愛（本当の自分）とともに帰る道があります。

私は、この道をただひたすら前を向いて歩いていく喜びを心に感じながら、今もこのように語っています。

どんどんどんどん心から湧き上がってくる思いがあります。私の中の愛が、この喜びをどんどんどんどん私に伝えてくれます。

これから、二五〇年、三〇〇年、そして、次元を超えて私の中に伝え続けてくれる愛。それが私でした。私はこんな私に目覚めさせていただいたんです。

肉の私は愚かです。しかし、私はこの肉を持ったからこそ、私は私に目覚めさせていただいた。私の中の愛がそのように伝えてきます。愛は私自身でした。私には、はっきりとそれが分かるんです。

心を田池留吉、アルバートのほうに向け、私を思うとき、「あなたは愛です」としっかりと伝わってくる私を感じます。ああ、これが私でした。

本当にありがとうございます。心の中から喜びが湧いて出てきます。温もりが私の中にありました。

温もりと喜びで私自身を包んでいくことが、私の喜びであることを、何度も何度も、確認させていただいている今です。

私の今世は喜びでした。本当に喜びでした。こ

のように肉体を持たせていただいたこと、本当にありがとうございます。お母さん、ありがとうございます。ありがとうございます。

「あなたは愛です」のメッセージを受けて瞑想をしました。

ありがとうございます。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。私は幸せです。愛を感じる心の中に、私はいつも帰っていけること、愛溢れる喜びの中にあったことを伝えてくれます。田池留吉、アルバートのメッセージは私に届いています。

私はその思いを素直に受け止めていきます。

心の中へ帰っていく私を素直に受け止めてまいります。私の中には喜びがしっかりと感じられます。喜びの中にあった私でした。愛は私でした。私は愛でした。だから、私は、「あなたは愛です」としっかりとメッセージを送ってまいります。

愛に帰っていく喜びだけが広がっていく、これからなんです。私はそのことを心より伝えていきます。宇宙へ帰っていく道、私達のふるさとであ

る母なる宇宙（＝愛）へ帰っていく道をしっかりと示していきます。

真実の宇宙へ帰ってまいりましょう。

私達は、帰るべきところがあったんです。帰っておいでと言ってくれているこの呼びかけを、素直に受けてまいります。

「帰っておいで。私達は喜びでした。私達の許（もと）へ帰っておいで。喜びの中へ帰っておいで。」

絶えず、絶えず、心の中に広がり伝わってくる思いです。喜びです。

田池留吉の存在、アルバートの存在を心に感じながら、私はこれからも生き続けていきます。

ありがとうございます。心の針を向けて合わせていくことが、喜びです。

私は喜びでした。お母さん、ありがとうございます。

私はこの本当の私の思い、メッセージを捨て去ったんです。聞こえなくなっていました。遠くに、

遠くに捨て去り、私は、ずっと、ずっと偽物の自分を作り続けてきました。そのことを、今の肉を通して感じさせていただきました。知りました。本当に学ばせていただきました。

私はこの肉体を持っています。しかし、これは私ではありません。私は何々という名前が付いています。しかし、この肉体が私でないことを知っています。私は、今、心から語っているこの私が私。私の中に喜びと温もりがたくさん、たくさんあります。いいえ、それだけが私だったんです。

その上に蓋をして、ギュウ、ギュウ、ギュウ、ギュウ、押し込めて、私は自分の世界を作り続けてきました。立派な世界を作ろうとしてきました。その中で私自身、偽物の私が君臨しようとしてきました。いいえ、現実に、君臨してきました。

私は私の世界を作ってきました。田池留吉は、その私の世界を見つめてごらん、感じてごらんと、ずっと、ずっと伝え続けてくれました。

私は、田池留吉、アルバートの波動の中で、そのメッセージを心に受け、私は私を感じてきました。

それは、とても、とてもちっぽけな世界でした。

小さく、小さく、凝り固まった世界でした。
　それが、ようやく、私には分かったんです。
「私はこんなちっぽけな世界ではない。私の本当の世界は、もっと、もっと、どこまでも広がっていく、大きな、大きな、どこまでも、どこまでも無限大に広がっていく、温もりと喜びの世界。」
　すでに、母はずっと昔から伝えてくれていました。何千回、何万回、何百万回、数え切れないほど母のお腹にいた頃、私は伝えてもらっていました。
　しかし、私は、そんなことは決して信じることができませんでした。それが数々の苦しい転生の所以（ゆえん）でした。
　今、私は、ここにこうして、ようやくそれを自分の中で紐解（ひもと）いて、ああ、私は間違ってきました、本当にごめんなさい、自分に申し訳なかった、そんな思いの中で、ずっと、ずっと学ばせていただきました。
　そして、私は次のステップへ、さらなる次のステップへと歩み出しています。
　私の中の宇宙を呼び、その中に広がっている彷徨（さまよ）う意識達、その私の仲間達に心を向ける日々

なんです。
　私は、この地球上に転生してきました。そして、それ以前も、ずっと、ずっと生き続けてきました。その私、すべての私自身に心を向けています。
　ともに帰ろうという、ただただ力強いメッセージを添えて、私は自分を感じています。
　それが私でした。私の中には、この喜びと温もりがあったんです。
　すべてを包み込み、吸収していける喜びと温もりの世界。
　どこまでも広がっていく大きな、大きな世界。
　それをあなたは自分の心で感じていきなさいと、田池留吉、アルバートは、ずっと、ずっと伝え続けてくれていました。
　今、私はそんな私とともに心を広げて、感じていく時間を用意しています。とても嬉しいです。淡々と語る私の中です。私は淡々と語ります。
　間違ってきたことも、狂い続けてきたことも、みんな、みんな私の肥やしになりました。
　そして、それをステップにして、私は、自分の世界を広げていけるんです。今度こそ間違いなく、

本当の自分の世界を広げていけるんです。私は、とても嬉しいです。
　だから、私はメッセージを送ります。
　愛を思う瞑想をしましょう。田池留吉、アルバート、母なる宇宙を思う瞑想をしましょうと。そして、あなたの中の愛、田池留吉、アルバートと語り合いましょうと。
　愛を思う瞑想、ということは宇宙を思う瞑想です。私は私の中の宇宙を思い、全宇宙に喜びと温もりのエネルギー、愛のパワーを伝えていきたい、伝え続けていく、そのような自分を感じています。
　心の中に田池留吉、アルバートからのメッセージが届きます。
「日々、心をしっかりと見て、私のほうに心を向けなさい。あなたとともに、私とともに、心は一つ。ともに、ともに歩いていける喜びを私は伝えています。」
　そのようなメッセージを私は心に受け取りながら、日々、瞑想を続けています。瞑想をすることが私の仕事です。
　私は、瞑想をすることによって、愛を思えます。

宇宙を思えます。そうすると、私の中からエネルギーが流れていきます。

宇宙を思うと、つまり、エネルギーが流れていきます。このエネルギーが愛のエネルギー、パワーであることを私の心は感じ取っています。

だから、私の宇宙から嬉しい、ただただありがとうと喜びが返ってきます。

まだまだ、まだまだ闇黒の宇宙が、もちろん、あります。大きな、大きなエネルギーをしっかりと蓄えてきた宇宙だからです。

しかし、私はこの喜びと温もりのエネルギーを、ずっと、ずっと、遠く、遠く、遠く、遠く、本当に気の遠くなるような意識の世界、限りなく広がっていく意識の世界に、ずっと、ずっと伝え続けていきます。ともに、ともに、歩いていける喜びを伝え続けていきます。それが私の思いです。

私は、今ここに、一つの肉体を持っています。しかし、私はこの肉体が自分だと思っていません。

この肉体を離した後も、こうして私は、自分の思いを語っていけるんです。

私は、喜びと温もりのエネルギーを流し続けて

いきます。

田池留吉、アルバートとの出会いにより、今世の私は、本当の喜びを知りました。私の中で、ようやく方向転換を促(うなが)し、自分の中を変えていき、そして、私はようやく、全宇宙へ心を向けていける自分であったことを、確実に知る道を歩き続けています。

嬉しいです。ありがとう。お母さん、ありがとう。

心からありがとうを伝えます。私はこうして肉体をいただきました。

そして、もう一度、もう一度、私に肉体をくださいと私はすでにお願いをしています。

お母さん、あなたは聞き入れてくれています。だから、私は、これからも存分に、喜びと温もりのエネルギーを流していき、そして、時が来れば、この肉体を置き、時が来たれば、お願いをしていた肉体をいただきます。

そしてまた、その肉体とともに、全宇宙へ喜びのエネルギーを流していきます。田池留吉、アルバート、ありがとうございます。ありがとうございます。

【瞑想より】

① 心の底に眠っていた思いが突き上がってきます。私も、私も、私もと、言葉で表現すれば宇宙達が、私の中から喜びを噴き上げてきます。

私も、私も、私も。この思いを私の心の中でしっかりと感じています。

解き放たれていく喜び、愛に帰る喜びです。本来の自分に帰れる喜びを心に感じながら、私は思いを向けていきます。

心に感じる思いをどんどんどんどん吐き出していきなさい。そうです。どんどんどんどん出していくんです。喜びの中、温もりの中、何も憚(はばか)ることはありません。あなたの中にある喜びは、あなたの中の宇宙に流れていきます。愛のエネルギーとして流れていくんです。心の中を解き放していく喜びです。

私の中の喜びを語ります。私は喜びでした。心を解き放っていきます。

私に心を向けて愛を語る、あなたの喜び、温もり、広がり、優しさを感じています。とても、とても嬉しいです。ともに、ともに帰れることをただただ喜んでいってください。

それだけです。ただただ喜んでいくんです。喜びは喜びをいざないます。愛は愛を目覚めさせていきます。

本来の自分を目覚めさせていく度合いが強くなっていきます。

喜んで、喜んでいくだけです。心の針を向けて合わせ、喜んで、喜んで、あなたの歩みをしっかりと進めてください。

心の中をしっかりと見つめ、あなたの中の愛を見つめてください。

喜び溢れるあなた、温もり溢れるあなた、愛溢れるあなたです。

その喜びの中にあなたがあることを私は伝えてきました。

それはあなたが心で感じている通りです。

私達は一つです。一つのこの道を真っ直ぐにしっかりと歩いていくこと、ただただそのことをお伝えします。

ただただ、そのようになっていくことをお伝えします。

確信の道です。喜びは確信の道。愛の道は確信の道。

ぶれることなく、逸れることなく、ただただひたすらに真っ直ぐに歩いていけるあなたの道です。

そのことを私はあなたにお伝えしました。

喜びです。喜びです。温もりです。温もりです。私達はすべての意識達を愛に帰すエネルギーを心に蓄えています。心に秘めています。

宇宙を呼んでいきなさい。あなたの中で宇宙を呼び、そして、この愛を伝えていくんです。愛のエネルギーを流していくんです。ただただ、それだけ。あなたの仕事はそれだけです。

私はあなたとともにあります。あなたが心を向けて、私とともにあることを感じていただけることが喜びです。

「私達は喜びです。喜びの中へ帰ってまいりましょう。」
　そのようにあなたの中へ伝えていってください。私からのメッセージです。
　私からのメッセージをあなたの中に流していける、愛のエネルギーを流していけるあなたであることを、私は、今ここに伝えています。

② **愛が語ります**。ありがとうございます。心よりありがとう。私達との出会いを果たしてくれて、心よりありがとう。
　愛溢れるあなたとの出会い、私達は待っていました。心の中の喜びと温もりを、どうぞ、どうぞ、全開にしてください。
　どうぞ、どうぞ、しっかりと心を向け、私達の喜びと温もりを心から発信してください。
　間違って存在してきた思いを心から吐き出しました。そして、それが私達の許(もと)へ帰れる喜びだったんです。そうです。狂いに狂い続けてきた間違

いを、あなたの中でしっかりと受け止め、愛のあなたへ帰れる喜びを伝えてください。私達の喜びと温もりを、心から、心から伝えてください。

③ **喜びの中に帰ることを約束してきました**。その喜びの中へ帰る道を、一歩、一歩、歩いていくことを、あなたが心に感じることは、喜びです。

　私はあなたの中で語ります。私はあなたの中へ、愛のエネルギーを流し続けてきました。私は本当のあなたです。喜びの中へ、温もりの中へ帰れることを伝え続けてきました。

　心の中に響いてくる喜びの思い、温もり、優しさは、あなたが遠くに、遠くに捨て去ったものかもしれません。しかし、あなたの中に今、こうして感じられるあなた自身があります。

　しっかりと心を向けることです。あなたの中に確信が芽生えています。

　その確信は確信を広げ、喜びをさらに大きくしていきます。

「私はあなた、あなたは私」、この言葉の意味を波動としてとらえたとき、私達は一つだと、しっかりと心に響いてくるでしょう。

これ以上の喜びは何もありません。一つの世界にただ心を委(ゆだ)ねられる喜びだけが響いてくるはずです。

私は田池留吉、アルバート。私を呼んでくださってありがとう。

ともに帰る意識達をあなたの中で感じていきましょう。たくさんの意識達が、そのメッセージを待っています。

たくさんの意識達に伝え続けていますね。それを続けてください。

ただただ、心を向けて伝え続けるだけです。愛のエネルギーは流れています。どこまでも広がっていく世界があなたの世界です。私達の世界です。愛のエネルギーは流れ続けていきます。どこまでも流れ続けていきます。

④ あなたの中の愛のエネルギー、パワーをさらに全開していきなさい。

私の中へどんどんどんどん入ってくるのです。

「私は愛。あなたも愛。ともに一つ」、その世界をしっかりとあなたの心の中に広げていけるこれからの時間です。

私はあなたに伝えます。あなたとともに歩くことを私は伝えます。

私は田池留吉、アルバート。アルバート、アルバートです。

アルバートとあなたが心の中に呼んだときに広がる思い、その波動の世界を、どうぞ、どうぞ、心でしっかりと信じて、深めていってください。

アルバートとの約束を、あなたの宇宙がすべて遂行（すいこう）できるよう、あなたはただただ、田池留吉、アルバートに心の針を向けるだけです。

宇宙へ喜びを、喜びをと、あなたの中をどんどん広げていってください。「私達は愛。愛溢れる存在です」、あなたの中の宇宙、ＵＦＯ達に伝えていきなさい。心の中をしっかりと向けて合わせて、あなたの中の喜びをどんどんどんどん宇宙に伝え

ていくんです。
　ＵＦＯ達の喜びがあなたに返ってきます。あなたの喜びは、またＵＦＯ達に伝わっていきます。
　ＵＦＯ達とともに次元移行を果たせる喜び、その思いをしっかりと心に感じて、これからの時間を過ごしてまいりましょう。
　田池留吉、アルバートは、あなたの中で喜び、喜びでこの思いを感じています。
　一つの世界を感じています。私達は一つ。ともに、ともに存在していける意識です。
　だから、あなたは私に心を向け、どんどん凄まじいエネルギーを心に受けていくのです。言葉ではありません。波動を受けていき、その波動を、喜び、プラスへと変えていきなさい。
　変えていけるようになっています。そして、変えていくことにより、またあなたの喜びと温もりはさらに大きな喜び、温もりへと変化していきます。

⑤ 愛のエネルギー、パワーを心に秘めていることを心から知っていくことが、私の喜びでした。

私はこのエネルギー、パワーを知っていました。遥か、遥か昔、私はこのエネルギーでした。このパワーでした。

私は私を捨てたことに心から懺悔でした。愛は私の中にありました。

愛のエネルギーに満たされた世界を私は捨てたのです。愛を捨て、私は地獄の奥底に落ちていきました。

しかし、このようにして、今、このようにして、語れることが本当に嬉しいです。

愛の私に心を向けたとき、私は私を語れます。

私は愛でした。そうでした。私はこの愛の中にありました。この愛が私でした。

田池留吉の波動を心に感じたときから、私はこの私を蘇らせることを知っていました。素直に心を向けたとき、私の中に応えてくれる私がありました。

心が大きく広がっていくとき、私の中の愛はさらに、私を広げていきます。温もりがどんどん湧

いて出てきます。ああ、私の中に温もりがどんどん広がっていきます。田池留吉、ありがとう。
　田池留吉の世界を思い瞑想ができることが喜びです。心の中に伝わってくるこの波動を感じながら、私は喜びを広げています。

⑥ **愛を学んでください**。あなたの心の中の愛をさらに、学んでください。愛のエネルギー、愛のパワーをあなたの心で学んでください。
　喜びです。温もりです。限りない優しさです。
　この波動、エネルギーをあなたの心の中に送ります。
　この波動、エネルギーをあなたの心の中から発信してください。
　思うだけでいいんです。思えば流れる波動、エネルギーです。

　しばし、瞑想を続けました。私の中から、思いが上がってきます。宇宙達が交信してきます。

私は応えます。
ありがとうございます。ありがとうございます。ありがとうございます。
ともに、ともに帰りましょう。私達は一つです。ともに、ともに帰れることをお伝えします。

私は愛です。あなたも愛です。ともに、ともに愛に向き、私達は次元を超えていきましょう。
私達は意識、エネルギーです。優しい、優しい母の温もりの中へ帰れる存在でした。そんな喜びが伝わってきます。
宇宙へ思いを向け、私は心の中の愛を全開にしてまいります。
私は心をしっかりと愛の方向へ向け、心から私達は愛でした、喜びでした、温もりでした、そんなメッセージを発信してまいります。
私の肉は愚かです。肉の思いは愚かです。しかし、私は田池留吉、アルバートの意識の世界と一つ。心の中から伝わってくる優しい、優しい母の温もりだけが私をいざなってくれます。
喜び溢れるあなたへと、私達はそのように気付

きと促(うなが)しをいただきました。心をしっかりと向けて合わせて、今、私は喜びの私を感じています。
田池留吉、ありがとうございます。
アルバート、私はあなたとともにこの喜びを発信してまいります。
アルバートの肉とともに喜びを発信していける私は幸せ、喜びです。
私は、二五〇年後の肉を通して、今、心に語っています。
私は喜び、温もりの世界へ、ともに歩いていく意識です。

⑦ どこまでも広がっていく世界。大きな、大きな宇宙の中にあります。私達はこの世界にありました。田池留吉、アルバートの宇宙へ心を向けてまいります。宇宙達に伝えてまいります。優しい、優しい母の許(もと)へ帰りましょう。私は、今、伝えます。

ありがとうございます。ありがとうございます。

伝えていただきました。ありがとうございます。心を見てまいります。心の中のエネルギーを感じてまいります。私達は喜びだと伝えていただいています。そうです。私達の喜びの思いをしっかりと見つめてまいります。心の中をしっかりと見つめてまいります。心の中をしっかりと見つめていくように、私達に伝えていただきました。ありがとう、ありがとう、ありがとう。

母の喜びを、温もりをこのように伝えていただき、ありがとうございます。

私達も、ともに次元を超えてまいります。ともに、ともに歩いてまいります。ありがとう、ありがとう。

私達は肉を持たない意識。しかし、今、心に語ります。ありがとう、ありがとう。喜びで、喜びで心を見てまいります。

私達は肉を持たない意識。しかし、私達はともに、ともに帰ります。私達も、ともに、ともに帰ります。

待ってもらったから、長く、長く待っていただいたから、だから、私は心で感じた愛のエネルギー、パワーを全開にして、心を向けてまいります。た

くさんの、たくさんの意識達、宇宙達が待っています。

私は約束しました、心の中に感じる世界を伝えていくことを。

今世まで、その約束が果たせなかったんです。求めてきたものはブラックのエネルギーばかりでした。

私は外へ向いて、自分の外へ、エネルギーを、パワーを求め続けてきました。求める心、求める思いがブラックでした。

私の中にすでにあった心を奥底に沈ませて、私はさらなるエネルギー、さらなるパワーをと、外へ求め続けてきた愚か者でした。

しかし、私は自分の中にようやく真なるエネルギー、真なるパワーがあることを知りました。心で知りました。

たくさんの宇宙達に伝えていくことができます。

「私は愛、あなたも愛、すべては一つの世界。ともに、ともに帰りましょう。次元を超えていきましょう。」

しっかりとそのエネルギーを、パワーを流して

まいります。波動を流してまいります。
　私のこれからの時間、私のやるべきことはこのことです。
　心の中から流れていくエネルギー、パワーの質の変換をさせていただきました。
　外に求めることをやめて、私の中へ心の針を向けることをしてまいりました。外へ向く心を、自分の内に向けること、そのことをしっかりと実践してきました。
　たくさんの時間を経て、私は、ようやく、ようやく、その術（すべ）を知ったんです。だから、私は今世を境にして、心の歴史がガラリと変わりました。
　たくさんの意識達を心に受け止めてまいります。心にどんどん吸収してまいります。温かな優しい中にどんどん吸収してまいります。
　それで、私自身はどうなるものでもございません。たくさんの宇宙達の意識を受けながら、私は、さらに、さらに、喜びと温もりを大きくさせていきます。
　心の中に湧き起るエネルギー、パワーは私自身。愛のエネルギー、パワーでした。

たくさんの宇宙達よ、ありがとう。たくさんの宇宙達よ、ありがとう。

本当に、本当に待っていてくれました。私自身も待ってもらいました。

だから、私は今度こそ、伝えてまいります。しっかりと約束を果たしていけるこれからの時間、ありがとうございます。

たくさんの、たくさんのありがとうをいただきました。ありがとうを返してまいります。

喜びと優しさの中でありがとうを返してまいります。

宇宙に広がる闇黒の世界を心はとらえています。田池留吉、アルバートに心を向け、私は宇宙に伝えます。闇黒の宇宙に伝えます。伝え続けます。

「私達は愛でした。苦しく、暗く、温もりを捨てた私達でしたが、私達は自分の中にこの明るい、明るい宇宙があったことを知っていく道筋にあるんです。私達は今、喜びの道を示していただいています。

私達の喜びは限りがありません。意識の世界は、

無限に広がっていく喜びと温もりの世界です。」

　この喜びと温もりの世界、限りなく広がっていく世界を、私はどんどん感じてまいります。

　私は心からこの喜びの波動を伝えてまいります。田池留吉、アルバートの意識の世界は私の中にありました。お母さん、ありがとうございます。心よりありがとうございます。ああ、お母さん、お母さん。

⑧ たくさんの宇宙達よ。

　ありがとうございます。心をこうして向けられることが喜びです。

　私はあなた達を受けていきます。喜びの中へ、温もりの中へ帰ろうと、母なる宇宙へ帰ろうと、私はそのように伝えていけることを約束します。心の中に感じる波動、エネルギーは確かなものです。私はこのようにして、私の中へ伝えていけることが喜びです。

このようにしていくことができるように、私はこうして一つの肉を持ち、学びに繋がりました。心を見る学びです。母の温もりを心に蘇（よみがえ）らせる学びです。私はその学びの時間の中で、ただただ自分の作ってきた世界を感じてきました。

田池留吉に向かって叫び続けてきた凄まじいエネルギーは、私の中へ、今、喜びとして大きな、大きな力となって、私の中へ返ってきます。

ありがとうございます。田池留吉、ありがとう。

私はあなたに出会えて本当によかったです。私はあなたとともに歩いていくこと、存在していくこと、そのことを感じられるから、とても嬉しいです。

瞑想をして、あなたの波動を感じています。私の波動です。私の本来の波動はあなたの波動と一緒でした。

ともに、ともに喜び、温もりの中へ帰れることを、私は心に感じます。

自分を捨て去った心の中に、ようやく、ようやく、私はこうして伝えていけることが嬉しいです。

田池留吉からのメッセージ通り、肉を持ってい

る間、しっかりと心を向け、この喜びと温もりの波動を伝えてまいります。
そして、肉を離した後も伝えてまいります。再び、肉を持っても伝えてまいります。
私は、自分を自分の心で感じられることが喜びです。これからも、ずっと、ずっと続いていく喜びを、本当の自分とともに存在していける喜びを、心に感じています。

ありがとうございます。私は、あなたとともにこうして存在しています。私とともに存在していけることを喜んでいるあなたの心が、伝わってきます。
間違ってきましたと伝わってきます。
そして、私はすべての意識達を宇宙へ、母なる宇宙へいざなってまいりますと伝わってきます。
心から喜び溢れるように、私はこれからも自分を見つめてまいりますと伝わってきます。
ありがとうございます。私はあなたの中の愛のエネルギー。
今世、田池留吉という名で私は示させていただ

きました。
　肉を持ってきた意識達に、愛のエネルギーを正しく知っていただきたかったから、田池留吉の肉を私は持ちました。
　田池留吉の肉は道しるべだと以前から伝えてきました。私の指し示す方向に、素直にしっかりとひたすらに心を向けていけばいいだけだとも伝えてきました。
　私はあなたの中で語る愛のエネルギー、パワーです。
　私の波動、エネルギーを心から流していただいているようです。
　私は嬉しくて、嬉しくて、どんどん、さらに、さらに、私、田池留吉、アルバートのほうに心を向け、そのエネルギー、パワーを全開していくのです。喜びと温もり、幸せの道が、あなたの中にずっと続いていることを伝えます。この道をただひたすら、真っ直ぐに。
　ただひたすら真っ直ぐに、ともに歩いてまいりましょう。
　存在していくことが喜びです。存在そのものが

喜びでした。私達は一つです。

⑨ たくさんのＵＦＯ達よ。

心に感じる世界を伝えたい。私はそのように思います。

はい、お母さんの温もり、優しさ、私の中に広がる心、その思いを、ＵＦＯ達に伝えていきたい。伝えていくことが私の喜びです。

ありがとうございます。ＵＦＯ達、ありがとうございます。

これからも、ともに、ともに歩いてまいりましょう。

苦しかったよ、苦しかった。本当に苦しかった。怖かった。そんなＵＦＯ達の思いを心に感じています。

しかし、私達は、ああ、そうです、田池留吉、アルバートの世界に心を向けられる喜びを伝えてきました。

ともに、ともに歩いていこうという喜びです。

ああ、間違ってきた。すべてが、すべてが間違っ

てきた。どんなに、どんなにこの時を待っていたか。心の中から、私達とともに、ともにという思いでいっぱいです。肉を持っているとか、持っていないとか、ああ、本当に関係がないんだなあと思います。

心の中に蠢（うごめ）くエネルギー、ＵＦＯ達の思いが伝わってきます。苦しかった。寂しかった。辛かった。本当に間違ってきた。ああ、本当に間違ってきた。そんな思いが伝わってきます。

何が間違ってきたかって、自分達の喜びと温もりの世界を捨て去ったこと、私達は喜びと温もりの世界を捨て去ったんです。ああ、私達は自分を捨て去った。

それは、今、肉を持っていても、持っていなくても、同じでした。

母の懐（ふところ）へ帰れる。あの温もりの、優しい、優しい母の許（もと）へ帰れることだけを、私達は心にしっかりと刻んでいきます。

これから、これからたくさんのＵＦＯ達が目覚めていきます。

地球上に肉体を持っていく意識達もどんどんど

んどん目覚めていくでしょう。

天変地異とともに、大いなる宇宙へ帰ろう、母なる宇宙へ帰ろう、その愛のエネルギーの中で、たくさんの、たくさんの目覚めが起こってきます。

ありがとうございます。田池留吉、アルバートの意識にありがとうです。母にありがとうです。母なる宇宙へ必ず帰ってまいります。

そんな嬉しい、優しい思いを心に秘めながら、私達はこれからの時間を過ごしてまいります。ともに、ともに心を向けています。

田池留吉、アルバートへ心を向けていきます。

⑩ 母なる宇宙へ帰ろう。宇宙に彷徨(さまよ)う意識達、ＵＦＯ達。

「私達の思いを聞いてください。はい、私達の心の中に呼び掛けてくれています。

私達の思いを聞いてください。聞いてください。

真っ暗な、真っ暗な中で、ずっと、ずっと、ずっと彷徨(さまよ)い続けてきた私達の心の中に伝えてくださ

い。伝えてください。

温もりを安らぎを伝えてください。」

「遠く、遠く、どんなに遠くてもいい、私達の心を、思いを届けたい。」

「伝えてください。私達はここにいます。暗く真っ暗で冷たく閉ざされた中に私達はいました。一筋の明かりを感じます。明るいのは私達なんですか。私達なんですね。そのように伝わってきます。心の中にこの安らぎと広がり、温もりがあれば、どれだけ私達は嬉しかったか。」

「お母さんと呼んでごらん。」

「私達の中にあった、あった、あった。お母さん、お母さん、お母さん。そんな思いをどんどん広げていきなさいと伝わってきます。お母さん、お母さん。」

「ああ、どれだけの時を経てきたのか。今、私達の中に何かが起こっている。心を広げてくださいと伝わってきます。心を広げていくとはどうするのでしょうか。

ああ、こちらのほうに心を向けてごらんと、また伝わってきます。思えばいいんですか。」

「はい、そうです。思うだけです。こちらのほうに心を向けてごらんなさい。」

「アルバート。アルバートと呼べることが嬉しいです。アルバートと呼べることが嬉しい。何度も、何度も呼んでいきます。心の中で呼ぶたびに優しさが広がっていきます。アルバートはお母さんでした。アルバート、お母さん、アルバート。はい、私達にはアルバートが、ああ、ありました。」

⑪ 宇宙に思いを向けます。

肉を持たない意識達により、私達人類の目覚めは、大きく、大きく促(うなが)されていくでしょう。肉を持たない意識達が、この地球上にたくさん、たくさん、通信をしてまいります。それが二五〇年、三〇〇年の間、顕著になってくる現象です。

今もたくさんのＵＦＯ達が飛来していますが、肉を持つ地球人類は、自分達の幸せと、繁栄のみを求め、尽きることのない欲望の中に沈み込んでいます。

その目覚めというか、きっかけを作ってくれるのは、今、肉を持たない意識達との交信です。

つまりは天変地異の現象でしょう。自然災害を含め、様々な天変地異が起こってくる、これからです。天変地異しか、もう人類に伝える術はありません。

それを私達は心で感じ取っていかなければなりません。

瞑想をして、心を田池留吉、アルバートの方向に向けること、ただただ、ただただ、しっかりと愛を思い瞑想をすること、それが、待ち望まれているだけです。

嬉しいですね。嬉しいですね。本当に嬉しいですね。心の中を語れることは嬉しいですね。私達の思いが通じることはとても嬉しいですね。私達は、心の中をじっと、じっと見つめています。

心を見つめることができずにいました。心の中にあった喜びも温もりも、私達は知らずにきました。ああ、だけど、今、とても嬉しいです。

伝えていただきました、ともに次元移行を果た

してまいりましょうと。
　ああ、そうです。私達も喜びと温もりの中にあったことを思い出させてくれました。嬉しいです。嬉しいです。母の、お母さんの優しさが伝わってきます。私達の中に伝わってきます。苦しみではありませんでした。
　たくさんの、たくさんの、たくさんの、たくさんの仲間達も喘ぎ苦しんでいました。だけど、私達はどうしていいか分からなかったんです。どうしていいか分からなかった。だから、闘いを起こさざるを得なかった。
　自分の中の苦しみをどうにかしてほしかったんです。そのエネルギーを自分の中に包み入れていけるなんて、信じられなかった。
　だけど、私達の中にはあった、喜びと温もりが。そのように伝えてくれます。
　私達の本当の喜びと温もりはこういうことですよと伝えてくれます。

　ともに帰らせていただきます。ともに帰らせていただきます。次元を超えて私達もさらに、自分

を見つめてまいりたいと思います。
　真っ黒な真っ暗な暗闇の重苦しい中から、ようやく私達はこのように語れるんです。とても嬉しいです。お母さん、お母さん、お母さんを求めてきた私達でした。
　母を捨てたのはあなた達ですよと言っていただきました。
　そうです。捨てたのは私達だったんですね。

　私はたくさんのたくさんの宇宙達とともに次元を超えていくことを心に感じています。
　私は私の中にある愛をこの心から流し、たくさんの、たくさんの宇宙達に伝え続けます。肉があってもなくてもこの作業をし続けて、私達は次元を超えてまいります。
　約束でした。それが私達の約束でした。母に肉体を数限りなくいただき、私の意識の世界は、ようやくその約束を果たせるんです。
　私は、私の中からこのエネルギー、喜びと温もりのエネルギーを流していくこれからを感じ、私はとても嬉しいです。やはり、私達はともにあり

ました。ともに、ともに歩いていけることを私達は喜び合っています。

⑫ 私の中の宇宙を呼びます。

　たくさんの、たくさんのＵＦＯ達の飛来を感じています。ＵＦＯ達よ、田池留吉、アルバート、愛に心を向けなさい。

　狂ってきた私達の心の中をしっかりと見つめるように伝えていただいています。私達は、狂いに狂ってきました。私達の苦しみ、悲しみ、辛い、辛い心の中、この中で彷徨(さまよ)い続けてきました。とても、とても寂しかったです。苦しかったです。母の温もりへ帰りたいと、どれだけ心から望んできたことか。私達の思いは、ずっと、ずっと、ずっと、ずっと、ずっと、ずっと、ずっと遠くに追いやられてきました。

　私達もこの地球上に肉体を持ちたかった。しかし、それは、叶わないことでした。ああ、私達の

心の中に温もりと安らぎと喜びを。

ああ、本当に遥かなる喜びの世界へと私達をいざなってくれるのでしょうか。

私達の心の中を見てくださいと伝わってきます。ああ、そうです。間違ってきた。苦しみの中に培ってきたエネルギーはとても大きいです。宇宙のパワーを求めてきた思いはとても大きいです。

苦しかったからです。どうしても、どうしても、この心の中が苦しかったから、パワーを求めてきました。

自分達の姿を忘れ去ってきたんです。

そうなんです。そうなんです。そうなんです。苦しかった、お母さん。

苦しかった、お母さん。苦しかった。

私の中には愛溢れる思いがあります。私は今、ＵＦＯ達の思いを心の中に受け入れても、何も不安も恐怖もありません。ただただ、ただただ喜び、温もり、本当の私達の姿を伝えたい、伝えていこうという思いだけです。愛溢れる私達を知ってほしい。そのような思いが広がっていきます。

どんどんどんどん、私達はＵＦＯ達を受け入れていきたいんです。

私達は、この地球上に肉体を持った意識です。そして、私達の仲間は、このように、宇宙に彷徨(さまよ)い続けている現状を、一人でも多くの方に心で知っていただきたい、私はそのように思っています。

⑬ 愛を思い、まっしぐらです。

私の歩みは次元移行へ向けて、愛に思いを向けてまっしぐら。真っ直(す)ぐにただひたすらに真っ直ぐに突き進んでいくのみです。

愛を思い瞑想をすれば、私はそう感じます。

日々、瞑想を重ね、私の歩みは真っ直ぐに、ただひたすらに真っ直(す)ぐに。

これが二五〇年、三〇〇年、そして、次元を超えていく私の計画です。

私はその私の思いを忠実に、着実に実行していきます。その準備を着々と整え、今も順調に快調に進んでいます。

私はこの道を真っ直(す)ぐに、ただただ突き進んでいくだけです。

愛を思う瞑想、田池留吉の宇宙を思う瞑想、宇宙を思い、私の中の宇宙を思い、そして、次元移行を思う。

私の喜びは、ただただ、ただただ大きくなるばかりです。それに比例して、この地球上では、色々な現象が起こってまいります。

二五〇年、三〇〇年の間、本当に、大きな、大きな天変地異が何度も起こってくる、これからです。

私は、それを喜びで、ただただ喜びで感じられると思います。

肉に思いを向ければ、恐怖以外の何ものでもありません。

今までの転生と同じで、神を呪い、神を恨み、すべてを地獄に叩き落としていきます。それは、肉、肉、肉を本物とする中の出来事でした。

しかし、私は今世を境に、意識の世界を大きく転回しました。

だから、私はこれからの時間、たくさんの宇宙

達とともに、心を向けていける喜びを感じるだけです。

心の中に広がる思いは、ただただ次元移行のみ。それが私の計画でした。愛を思う瞑想は、私にそのことを強く、強く促(うなが)してくれます。私の後押しをしてくれます。愛のエネルギー、愛のパワーを全開にして、私はこれからも、存在していきます。

ありがとうございます。今を喜び、今を感じる、そんなあなたの心の中を私は感じています。私に心を向けたとき、あなたの中に上がってくる思いを感じています。

「ともに歩いていきましょう。ともに存在していきましょう。喜び溢れるあなた、温もり溢れるあなた、ともに、ともに存在していることが喜び」、あなたはそのように伝えてきます。

私達は一つだった。私達は本当に一つだった。一つの中にあるからこそ、このように喜びの自分を感じられる。この安らぎ、この喜び。

アルバート、ありがとう。ありがとう。ただた

だその思いだけが返ってきます。
　私は喜び。私は嬉しい。ありがとう、ありがとうと、ただただ伝えてくれる私を感じます。

　田池留吉の宇宙を思います。
　あなたは愛です。信じて、信じて歩いてまいりましょう。信じて、信じて生きてまいりましょう。信じて、信じて存在してまいりましょう。
　この喜び、この温もり、私達の中に伝えてくれた意識の世界でした。
　私達は愛です。あなたは愛です。そのように伝えてくれていました。
　嬉しいですね。嬉しいですね。ただただ思えることが嬉しいです。ありがとうございます。

⑭ 田池留吉、アルバート、お母さん。ありがとうございます。ありがとうございます。
　凄まじいエネルギーを宇宙に垂（た）れ流してきたこの心の中に、ようやく、ようやく自分の喜びと温

もりを見出すことができました。

その喜びと温もりの世界を、さらに広げていきなさいと、田池留吉、アルバートは伝えてくれています。

田池留吉、アルバートに心を向けるだけ。それだけで私の中は広がっていくんです。

ともに帰ります。すべての宇宙達とともに帰ります。

瞑想をすれば、心を向ければ、すべては愛の中にあったことを感じます。私はそれが自分の心に響き伝わってくることが、たまらなく嬉しいし、幸せなんです。今世、学ばせていただいて本当にありがとうございました。

あとは、一歩、一歩、着実にこの道を進んでいくだけです。時には突っ走ることもあるでしょうが、私の中のリズムは、弛（たゆ）まなく、確実に、さらなる真実の方向を告げてくれます。

◇

⑮ **私は、ただ前を向いて、一点を見つめて、自分の進むべき道を進んでいくだけです**。たくさん、たくさん、待っているからです。

田池留吉の宇宙を思います。

私の中に、「ありがとう、待っていました。待っていました。この波動、エネルギーの世界を待っていました。私達は帰ります。田池留吉、母なる宇宙へ帰ります。私達は帰ります」と伝わってきます。

忘れることはなかったこの波動でした。忘れられなかったこの波動でした。母の波動でした。

愛を間違えてとらえてきたことは、とても、大きな、大きな間違いです。そして、その間違いが自らに返っていくことを知っていくでしょう。

私達が愛でした。私達は愛を取り違えてきました。私達は自分を捨てたんです。愛を捨てたんです。愛を捨てて、愛を求めていった愚かな私達でした。

心の中をしっかりと見るようにと言われ、そし

て、自分のエネルギーを感じてくださいと言われ、しかし、その中に、己、己が出てくるとき、どんなに心を見よう、どんなにエネルギーを感じていこうとしても、うまくいきませんでした。

己の前に立ち塞(ふさ)がっている真っ暗な、真っ暗な自分自身、その自分が作ってきた壁をすべて取り払うことがなくては、本当のことは分からないんです。

意識の世界はそうです。それが意識の世界の真実です。意識の世界は正確です。意識の世界は曲げることはできません。本来の意識の世界は変えることはできません。しかし、私達が自分の中に作ってきたブラックの世界は変わるんです。変えることができるんです。それを信じていきなさい。信じていきましょう。そんなメッセージを、たくさん、たくさんいただいてきました。

自分に自分が伝え続けてきたことを、ようやく心で感じ信じられるようになった今世でした。ありがとうございます。ありがとうございます。

アルバートと呼べる喜びと幸せ、アルバートと

思える喜びと幸せ。田池留吉が伝えてくれたアルバートの波動。母なる宇宙の波動。

心はしっかりと感じ取っています。心で受け取っています。ありがとうございます。

田池です。よく、よく、ここまで。ありがとうございました。

私、田池留吉に心をもう一度、向けてみてください。

心に広がっていく優しさ、喜び、温もり。私は幸せです。ありがとうございます。ただただ嬉しい。心に感じ、心に響き、心に広がっていく波動です。

私は、宇宙へ心を向けて瞑想をしています。

私の中に宇宙があって、その宇宙の変わりように驚いています。

心の中をしっかりと見ていくと、私達の宇宙は本当に喜びでした。凄まじいエネルギーの中にあったけれど、それは私達が作り続けてきたものでした。私達の本質は明るい宇宙、大きな喜び、温もり溢れる宇宙でした。私は、その中でしっかりと

自分を見つめていけることを喜んでいます。
　喜びの宇宙が私達でした。愛に目覚めなさいと伝えてくださっていることが、どれほどの大きなパワーであるか、私は心に感じます。
　私達の愛のエネルギーを、もっと、もっと知っていかなければなりません。心の中に喜びのエネルギーが渦巻いていることを、もっと、もっと知っていかなければなりません。
　小さく、小さくとらえてきたことを、私達は知っていかなければなりません。
　ああ、心に感じることが喜びです。心に伝わってくることが喜びです。

　今、心はどんな状態でしょうか。

　アルバートの波動の中でともにあることを感じています。私は幸せです。心が穏やかに広がっていきます。この中にあることが安心なんです。そして、私は私を感じられることがとても嬉しいです。
　ありがとう、ありがとう、ありがとう、そんな喜びの思いが返ってきます。

田池留吉、アルバートに心を向けて私は存在しています。心の中にある喜び、温もり、ありがとうの思い。

ただただ幸せです。お母さん、ありがとう。お母さん、ありがとう。

⑯ お母さん、お母さん、ありがとうございます。

田池留吉、アルバートを呼べる私に蘇(よみがえ)らせていただきました。母の温もりの中にともに帰れると、私は心の中に知ったことを母に伝えています。母の意識に伝えました。

「数限りない転生をありがとうございます。本当にありがとう」、心から、心からありがとうを伝えたい。

「私は愛です」このメッセージ、この波動、このエネルギー、この思いを、私は私の中にしっかりと伝えてまいります。

私は愛です。私は愛でした。心よりありがとうございます。

愛に目覚めたこと、愛に目覚めること、私の今世の約束でした。私は自分に果たしました。

そして、私は心の中に蘇(よみがえ)らせた愛のエネルギー、パワー、それを私の中へどんどんどんどん流してまいります。

すべてが愛に帰る道にあったことを伝え続けていくこと、それが私の喜びとなって、宇宙へ発信していくんです。心からありがとうございます。

田池留吉、アルバートのメッセージ、日々、受けさせていただいています。波動を受けています。エネルギーを感じています。この波動、エネルギーの中に、私達は存在していることを、私の心は受け取っています。

ああ、だから、ありがとう、ありがとうと私の中が語ってきます。

⑰ **アルバートの波動を求めてきました**。アルバートの波動をずっと、ずっと探し続けてきました。アルバートの波動は私の中にありました。私はア

ルバートの波動の中にあったんです。アルバートの中に私はありました。

アルバートとともに歩いていける喜びを、本当に心から知りました。

思うことがすべてでした。思えることがすべてでした。

何も要らなかった。ただ思うこと、思えること、そんな自分を復活させること、そのために、私はこの地球上に数え切れない転生を持ちました。

今、こうして一つの肉を通して心を語っています。

心を語らせていただいています。ありがとうございます。

なぜ、こんなに苦しい時を、私は過ごさなければならなかったのか。

なぜ、こんな理不尽な目に遭わなければならなかったのか。

なぜ。なぜ、なぜ。私はこの思いをずっと心に蓄えて溜め込んで転生を繰り返してきました。

身分が高く、持てるものは数限りなく持っても、私のなぜは解き明かすことができませんでした。

そんな恵まれた境遇に身を置いても、私の心は苦しみだったからです。

尽きることのない欲望。私の心は苦しみました。

自分を知らなかったゆえに苦しみました。

何も持たなくていい。何も持たない自分があったんです。

こうして、喜びと温もりを感じられる私がここにありました。この出会いを私は本当に待っていました。

心から田池留吉、アルバートを呼べる心に出会ったことが私の喜びです。ありがとうございます。

⑱ アルバートと一言発すれば、私の中は一斉に反応します。アルバートを求めてきた、本当に求めてきた宇宙達の思いが心に響いてきます。

これが私の世界でした。アルバートを求めて、求めて、ここまでこうしてやってきました。

これが私の世界でした。嬉しいです。今、アルバー

トと心から呼べることが嬉しいです。

アルバートの宇宙へ帰れることが、本当に現実のものとなっている私の中には、ただただ嬉しさが広がっていきます。ありがとう、ありがとうが広がっていきます。

アルバートと心を向けること、これが私達の喜びでした。

私達は、こうして、ずっと、ずっとこれからも存在し続けていけるんです。

次元を超えていく意識の流れの計画。この意識の流れの計画を正確に遂行（すいこう）して、素直に、ただただこの流れに任せて私達は存在していけることを、喜びとして伝えていきます。

私は嬉しいです。本当にありがとうございます。

アルバート、アルバート、アルバート。心からアルバートを呼んでいる私の中に、ああ、よかった、本当によかった、ありがとう、ありがとう。ただただ、その思いが広がっていきます。

こうして産まれてきて、アルバートと出会い、アルバートと呼べる私を蘇（よみがえ）らせて、今、こうしてアルバートに思いを向け、アルバートと語ってい

る私が実現しています。本当に夢みたいです。

しかし、こうなっていくことが私の計画でしたし、これからも私の計画を正確に、ただただ素直に遂行（すいこう）してまいります。アルバート、ありがとうございます。

⑲ 私達が愛、そして、アルバートと呼ぶ世界は何もない世界です。そして、どこまでも広がっていく、ずっと、ずっと、ずっと広がっていく、ただただ優しさ、温もり、喜び、温かい、温かい、そんな世界です。

我一番の世界ではありません。救ってあげましょう、救ってください、パワーをください、パワーを差し上げましょう、だから心を向けなさい、あなたは素晴らしいですよ、あなたには大きな、大きな使命があるんですよ、この宇宙を治めていきましょう。そんなエネルギーではありません。

「あなたは優しさ、温もり、喜び。母の中に帰れることを信じていきましょう」と、ただただ優しい、

どこまでも、どこまでも広がっていく温もりの世界です。

愛、アルバート、私達はそのように呼んでいます。

この世界を心で感じていけば、とても言葉では言い表せられない喜びがあります。ただただありがとうだけが広がっていきます。喜びの中に、温もりの中にあった自分を感じます。ただただ感じていくだけです。

それが私達でした。この中に私達はありました。この世界が私達でした。ここを感じていけばいいんです。ここを感じていけば、ああ、本当に喜びだったんです。温もりだったんです。

求めることなど要らなかった。私達の中にすでにありました。それが私達でした。

⑳ 異語を発しながら心に感じ響く世界が、私の今の世界だと心から感じて、私は本当に嬉しいです。

だから、向けていけばいくほど、心の中の喜びとか温もりをしっかりと感じることができます。

田池留吉、アルバートと思い、私は異語で語っているときが、一番嬉しいです。幸せを感じます。心の中の喜びは、こういうものだったんだ、私の中の喜びとか温もりはこういうものだったんだ、肉の私を通して、今、自分の世界を感じています。

心の中にありました。私はそれがとても嬉しくて、嬉しくて仕方がありません。

どんなに、どんなにこの私に出会いたかったか。どんなにこの思いに出会いたかったか。私はすべてを否定してきました。自分を否定してきました。だから、とても苦しかったし、哀しかったし、砂を噛むような空しさの中で、何度転生を繰り返してきたことか。そんな私を今、心に受け止め、私は、ともに帰る道を、喜んで、喜んで歩き続けています。

宇宙と思えば、私の中に嬉しい、ありがとう、喜びです、そんな思いが広がってくるんです。田池留吉、アルバート。本当に出会えてよかったです。本当にありがとう。あなたと出会えて、この波動と出会えて、本当に幸せです。

お母さん、お母さん、ありがとう。私はただただその思いで異語を発しています。

自分と自分の中で、語り合える喜び。この時間と空間、私はこれからもこの肉の時間の中で存分に感じていけます。

それが私の喜び、幸せに繋がっていきます。宇宙の喜びと幸せに繋がっていくことも、感じています。

肉の愚かさとともに私はありますが、しかし、私はこの世界、この喜び、温もり、温かい、温かい思いの中に私は存在していたことを知ったんです。この人生は素晴らしいものです。

私にとって、この人生は本当に嬉しい、嬉しい人生です。

これからも、この喜びを堪能（たんのう）していきます。ずっと、ずっと、学び続けてきて、本当によかったです。

たくさんの私が待っています。たくさんの宇宙達が心を広げていくのを待っています。

心に伝えてくれるのを待っています。私は優しく伝えます。そして、返ってきます。ありがとうが返ってきます。私はそのエネルギーを吸収していきます。だから、私の中の喜びと温もりはさらに大きくなっていくんです。すべては自分と自分

の中の出来事でした。心は喜んで、ただただ喜んで、田池留吉、アルバートと呼んでいます。

優しい、どこまでも優しい波動が伝わり響いてきます。

瞑想は喜び。瞑想をできる私は喜びです。喜びが喜びをいざなっていく、そんな良き循環の中に私はいます。

以上、日々、愛を思う瞑想等により心で受けさせていただいた一部を綴ってみました。それを総括すれば、次の太字のメッセージです。

私は愛です。あなたも愛です。私達は一つです。

心して学んでまいりましょう。私達の中にあった愛は、私達のふるさと、母なる宇宙でした。その母なる宇宙へ帰る道筋をあなたの中にしっかりと見つけ出してください。

あなたの心の中にあります。母なる宇宙へ帰る道、それはあなたの心の中にあります。

私達はその道を見つけるために、どれだけの時を経てきたか。

ようやく、ようやく、今世、それぞれの肉体をいただいて真実へ続く道を学んでいます。そのことを忘れないようにしましょう。

私達は、そのために肉体を持ってきました。

私は愛です。あなたも愛です。私達は一つです。

この言葉をしっかりと、しっかりと自分の中に納め、そして、日々、瞑想を続けていってください。

私達は一つ。私達は一つ。

これから二五〇年、三〇〇年、そして、次元を超えて続いていく道を、ともに、ともに、喜びで存在していける喜びだけが、私の中に伝わってきます。

田池留吉を思うことは喜びです。

田池留吉、愛、そして、私達のふるさと、母なる宇宙。すべて、すべて、一つの中にありました。

心の中をしっかりと見つめていきましょう。私達は一つ。一つの喜びを感じていきましょう。

どうぞ、この太字のメッセージを心で味わいな

がら、日々、瞑想を続けていきましょう。
　私は、自分に肉体を持たせた思いに忠実に応えていこう、いきたい、そんな思いを持ちながら、日々、瞑想を続けています。
　今のこの肉体はとても大切です。私にとって、大きな転換期に当たるからです。大きな、大きな方向転換を自分の中に成し遂(と)げています。
　そして、私はその方向転換の先に、次元移行をきちんと見定めて、心をそこへ向けて、日々、淡々と喜んで生活をしています。
　私の日常は単調ですけれど、私の中に、たった一つの目的であった母なる宇宙へ、本当の自分の中へ帰れる、愛へ帰れる、愛の自分を蘇(よみがえ)らせ、その愛の自分とともに、これからずっと存在していける、その目的に向かっている確かな道を、今、心に感じています。
　これが私の生きる道でした。私がずっと、ずっと、ずっと長い間、探し続けてきた道でした。
　この道に今、出会えて、そして、その道を歩いている確かな足取りの中で、私は幸せと喜びを感じています。日々、幸せです。私は幸せです。

自分を大切に思うこと、自分を思い、私の中のたくさんの私を思うこと、過去から未来へ続く私を思うこと、そんな私の中を、今、感じられることがとても嬉しいです。

真実の波動と出会え、田池留吉、アルバートと心から呼べる私と出会え、私は私をよりいっそう大切にしていきます。

自分が自分に肉体という形を持たせたこの思いを大切に、日々、生きてまいります。

目を閉じて、自分の中に心を向ければ、自分を思える喜び、自分を感じていける喜びと幸せが、ふつふつと伝わってきます。

肉体という、肉体細胞という、大きな協力を得て、自分を解き放していける喜びを感じさせていただいています。

自分の中の愛に目覚めていくことが、どれほどの喜びであり、幸せなのか、私は自分の失敗の山積みから学ばせていただきました。

田池留吉の世界に心の針を向け、合わせていったとき、私の中に広がっていくものは、ただただ温もり、そして、喜びだけなんです。

心の針を向ける、合わせられることが、どれだけ幸せなことかと、私は、本当に心から感じます。

ふっと思うだけでよかったんです。何もなかった。ただ思うこと、思える喜びが広がっていきます。

私は私を大切にこれからも生きていきます。私は私の心を大切に、この中で、この宇宙の中で、私は私を大切にしていきます。私の中の宇宙を大切にしていきます。

私は、この肉を持ち、私の中を感じられることが喜びです。私の中には、喜びと温もりが溢れるほどありました。この私を感じていけるこれからの時なんです。私は、それが心で分かったことがとても嬉しいです。

私の中に帰れることが嬉しいです。

私の中にふるさとがありました。お母さんの温もりがありました。

私の中に愛がありました。私は私を思えることが嬉しいです。

私の中の愛。私の中の田池留吉、アルバート。私の中の本当の私。私はこの私を感じています。

波動、エネルギーを感じています。

心からありがとうと伝えてくれる私を感じています。幸せです。

私の肉も、もちろん幸せです。何の不自由もありません。これだけ恵まれた中にある私です。すべてに整えられています。心から学びができます。思うように学びができます。

喜んで、喜んで私はそれを受けています。私に用意したものをすべて、喜んで、喜んで受けています。

肉も環境も時間も、すべて学びをするために私が用意してきました。

自分を知っていく、自分の中の愛を知り、私の中をしっかりと確立するために、私は私に用意してきたこの環境を、私は喜んで受けています。

誰のためでもない。私は私のために生きていきます。これからも、ずっと、ずっと、です。それが私との約束でした。

心から愛を流せる存在であることを知っていくための私の計画を、私は喜んで受けていきます。

田池留吉、私は喜びです。私は喜びでした。温もりの中にある私を感じています。田池留吉、ア

ルバートの中に私は一つでした。心の中に私を思えることが喜びです。

　私達は愛に目覚め、私達は、喜びを流す、愛を流す、エネルギーです。

　私達の心は一つです。私達はこれからの時間、愛を流していきます。

　全宇宙が待っています。宇宙が待っています。私達の中へ愛を流してくださいと。私達の中へ愛を流してくださいと、宇宙達が待っています。

　私は宇宙達に心を向けていくこの喜びを心に広げています。

　とても、とても喜び。喜びの中へ私の中へ、おいで、おいで、といざなっていける。そのエネルギー、パワー、優しい温もりの中にあったことを伝え続けます。

　私はこれからの時間、二五〇年、三〇〇年、次元を超えても、私は伝え続けます。

　私達は一つ。心の中に宿すエネルギー、愛のエネルギーが私達の姿でした。

　ところで、肉体細胞という大きな協力を得てと

書きましたが、そうです、私達の肉体細胞も、私達にとっては宇宙です。
　あなたも、あなたの肉体細胞に思いを向けることを忘れないでください。日々、喜びで肉体細胞を思っていきましょう。
　肉体細胞に支えられて私は存在しています。いつも、いつも、肉体細胞から優しい波動を感じています。
　心の中に培ってきたエネルギーを、しっかりと自分の中で確認するために、私は、このようにして肉体をいただきました。
　肉体細胞の一つ一つが、私に愛を示してくれています。
「愛溢れるあなたがあなたですよ」、いつも、いつもそのように伝えてくれています。
　その肉体細胞の思いを無下(むげ)にすることなく、肉体細胞の思いに、今世こそ、応えていける私です。
　肉体細胞よ、ありがとうございます。本当にありがとうございます。

　私はあなたの肉体細胞です。はい、ありがとう

ございます。

　ともに、ともに心を向けてまいりましょう。私達は、あなたの協力者です。絶対にあなたを裏切りません。あなたの心に感じ響いてくる世界を存分に感じていってください。私達はその協力を惜しみなくさせていただいています。

　心の中に田池留吉、アルバートを呼び、そして、私達とともに次元を超えていこうと、そのように伝えていくには、あなたのその肉体細胞、私達ですね、私達がとても、とても大切です。

　私達とともに、存在していることをあなたの心は感じています。

　決して裏切らない自分を知ったこと、決して見限らない自分を知ったこと、そんな本当のあなたに、私は支えられてこれまでやってこれたんだ、これまで存在してこれたんだ、そのように、あなたは、あなたに喜びの思いを伝えています。どうぞ、素直なあなたの心をしっかりと育てていってください。

「肉に向けば、闇の大きなエネルギーを感じるでしょう。

　しかし、あなたの心の中に広がっていく世界、

それがあなたですよ。
　優しさ、温もり、大いなる愛。愛の世界。愛はエネルギー。愛はパワー。すべてを生かしているエネルギー、パワー。それが私達でした。
　私達は自分の中にすべてがありました。自分の中に、自分を生かすエネルギーがあります。それが愛のエネルギーでした。
　この愛のエネルギー、パワーをもって、私達はこれからもどんどん、自分の中を進んでまいりましょう。」
　肉体細胞はこのように伝えています。このメッセージをあなたの心はしっかりと受け止めてくれているはずです。
　私達とともに存在している今を喜んで、喜んで過ごしてください。
　そして、時が来れば、あなたはやはり、ありがとう、ありがとう、ありがとうと、その思いを流してくれるでしょう。
　肉体細胞にありがとうの思いを流していける、そんなあなたに蘇(よみがえ)られたこと、私達は喜びで見つめています。

おわりに

人生、色々ではありません。私達が産まれてきた理由、目的はたった一つです。心で知ってあなたの今の人生を終えてください。

本当の自分の中に帰っていく道を心で知らない限り、地獄は永遠に続きます。

自分の外に、自分を支えてくれるもの、癒しとなるもの、温もりを与えてくれるもの、喜び、幸せを感じさせてくれるものは、何もありません。

愛へ帰る道を淡々と歩き続ける私の中を、私は感じています。

私は本当に嬉しいです。瞑想をすることが喜びです。瞑想をして、私は、愛の中にあった、私自身が愛であることを確認できるからです。

私は田池留吉、アルバートへ心を向け、心の針を合わせ、自分のエネルギーを感じてきました。凄まじいエネルギーを感じてきました。

しかし、私はその一方で、それらの凄まじいエ

ネルギーによって、喜びと温もりを大きく、大きく広げてきました。

私の中の凄まじいエネルギーはみんな喜び、温もりの中へ帰っていけることを確信したんです。

私はこの作業をこれからも、もちろん、続けていきます。すべてが私の計画でした。

私の中の喜びと温もりは、私の中をしっかり、しっかりと支えてくれています。愛のエネルギーです。愛のパワーです。

愛のパワーが働けば働くほどに、この世的には大変な状態になってきます。形の世界が崩れていくことは喜びなんです。私は自分の中を思うと、そのようにメッセージが来ます。

私の中に喜びと温もりを広げていけばいくほど、この世的なものはみんな、狂いに狂ってきたその実態が明らかになっていく、それが形の上での崩壊(ほうかい)です。

宗教という形の世界は崩れていきます。

宗教は、本当に愚かな人間が作り出した形の世界の愚かな産物でした。

私達は、自分の中に作った宗教という世界を崩

していかなければなりません。

自分の心の中に培ってきた宗教という闇の世界。その世界を、それぞれがしっかりと心を愛の方向に向けて、崩していかなければならないんです。

他力のエネルギーは、まだまだ私達の心の中に巣くっています。

その暗闇の部分をしっかりと、しっかりと見つめてください。

宗教は愚かな人間の産物です。私達は自分に反抗してきました。

反抗して反抗して、宗教という世界を作り続けてきた愚かな、愚かな私達でした。

日々の生活の中で自分のエネルギーを確認して、ふっと、田池留吉、アルバートを思う。そして、また日々の生活を続ける。

そして、ゆったりと静かな瞑想をする時間を持ち、自分の中を感じていく。そのエネルギーとともに、田池留吉、アルバートを思う。

そんな毎日を淡々と喜んで過ごしていきましょう。淡々と喜んでその作業を継続していきましょう。

自分の中のエネルギーを確認して、それをただただ、喜びと温もりへ帰していける作業は、大きなエネルギー、パワーとなって宇宙へ流れていきます。意識の世界を変えていきます。

意識の世界を変えていくということは、形の世界は崩れていくということです。

偽物の影の形の世界が崩れていくとき、それを目の当たりに体験したとき、人々は本当に心の中に何を感じていくのでしょうか。

半端ではない形の世界の総崩壊。

まさに、神も仏もあるものかと、そうして、命を落としていく人々がどれだけ、この地球上に出現してくるでしょうか。

神を恨んで呪って、自分を呪って殺しまくっても、心の中の本当の自分は決して消し去ることができないことを、どれだけの人が知っていくのでしょうか。

これからあなたはどのように生きていきますか。どのように存在していきますか。

神を握ったままでは本当の自分が分かりません。健康であって、家族に恵まれ人に恵まれ、裕福な

暮らしの中にあっても、本当の自分を心に知るというか、本当の自分を信じていく方向に舵を取っていく生き方が自分の中で確立していなければ、本当に空しいものです。

自分の中の寂しさ、空しさを誤魔化していく、紛らわせていく生き方は、もう本当にやめていきましょう。

今、肉を持っている間、肉を通して自分のエネルギーを感じられるんだから、そのエネルギーをしっかりと感じて、そして、そのエネルギーの修正に全力を投じていきましょう。

そうです。自分のエネルギーをその肉を通して感じていく時間が、肉を持つ時間です。だから、肉を持つ時間はとても大切な時間です。

自分のエネルギーをただただ知っていけるんです。それは喜びです。

どんなエネルギーが自分の中から出てくるか、しっかりと見極めて、そのエネルギーをプラス、プラスへ変えていくこと、そのことに全力を投じていく、これほどの喜びの人生はありません。

すべての意識が愛に目覚めていくとき、その喜

びのエネルギーは、大きなパワーとなって、仕事をしていきます。

それがこれからの二五〇年、三〇〇年の時間です。

そのエネルギーが次元移行を果たしていく、そんな道筋をしっかりと心に見つめ、感じ、その道を淡々と歩いていける、そんな人生こそ、素晴らしい人生ではないでしょうか。

私はあなたの中の愛。本当のあなたです。あなたの中に私はいます。

あなたの中に、私はこのようなメッセージを送っています。

あなたは、このメッセージ通りに今、一歩、一歩、着実な歩みをしてください。その一歩を大切にしてください。

自分を見つめること、それはただただ喜びです。

自分を感じていくこと、それはただただ喜びです。

ともに、ともに歩いていきましょう。

たくさんの、たくさんの意識達、宇宙を、心に呼び込み、そして、それをプラス、プラス、プラス、愛へ、愛へ、愛へといざなっていけるエネルギー、

パワー。そのエネルギー、パワーこそ本当のあなたです。
　その本当のあなたに、喜び、喜びで心を向けてまいりましょう。
　心の針の向け先をしっかりと確認しましょう。そうです。心の針の向け先です。
　田池留吉、アルバート、母なる宇宙へ、しっかりと心を向け、着実な歩みを進めていきましょう。
　喜びは喜びをいざない、苦しみは苦しみを膨らませていきます。
　どうぞ、何が喜びで、何が苦しみなのか、今世こそ自分の心で知ってください。
　偽物の世界を崩していくこと、偽物の世界、自分の中に作り続けてきた偽物の世界を崩していくこと、これこそが本当に待たれていることです。
　愛のエネルギー、パワーが、意識の流れをぐんぐん遂行（すいこう）させていきます。
　愛、愛、愛のエネルギー、パワーです。
　心にしっかりと抱え持ちながら、心にしっかりと感じながら、日々、淡々と自分の中を感じ、そして、「ともに帰ろう」このメッセージを発信して

いくことに邁進してまいりましょう。

最後になりましたが、「あなたの中の愛が語ります」ということで、メッセージを送らせていただきます。

あなたは、今、幸せでしょうか。本当の喜びと温もりの中にあるご自分を感じておられますか。その自分とともに、一歩、一歩、着実に歩んでいますか。

私は、田池留吉、アルバートの意識です。心の中に私の思いを感じていけるあなたは幸せなはずです。

どうぞ、しっかりと、私、田池留吉、アルバートのほうに心を向けて、愛の喜びのエネルギー、そのエネルギー、パワーを感じていきましょう。

しっかりと、しっかりと心を向けていきましょう。

◇

愛を蘇(よみがえ)らせてください、愛あるあなたに蘇(よみがえ)ってくださいと伝えています。ということは、次元移行へ向かってまっしぐらに進んでまいりましょうということなんです。

このメッセージをしっかりと受け取っていただくことが、ただただ私には喜びです。私はあなたにそのように伝えていけることが喜びなんです。

ただただ、ともに歩いていける、そんな心を感じ、そんな意識の世界を感じ、そんなメッセージを流してくれることを、ただただ私は喜んでいます。

◇

愛に帰りましょう。愛に帰りましょう。私はそのように伝え続けます。

愛とともにある私達でした。そうです。私達は愛に帰る意識なんです。

本来の自分の姿を心の中に感じて、感じて、さらに感じて、ともに、ともに帰っていきましょう。

たくさんの、たくさんの意識達。心の中に眠っているたくさんの意識達。すべては愛に帰る意識達です。

◇

ともに、ともに帰る喜びを心に感じていってください。ともに、ともに帰れる喜びを心に感じ、その感じたものを、どうぞ、波動として流していきましょう。波動です。エネルギーです。愛のエネルギー、パワーです。

この愛のエネルギー、パワーを全開にして、ともに、ともに帰れる喜びだけをお伝えします。

いついかなる時も、私、田池留吉、アルバートは、あなたの中に語っている波動、エネルギーです。あなたが心を向けていけば私は語ります。

私はあなたとともにあります。あなたの中の愛です。私は愛のエネルギーです。ともにあることを喜んでいってください。

喜び、喜び、喜びの人生をあなたは歩んでいかれるでしょう。

ただ心を向けていけばいいだけです。

◇

まっしぐらに、まっしぐらに、真っ直ぐに、真っ直ぐに、進んでいきましょう。歩んでいきましょう。

私達は一つです。ともに、ともに、喜びを、喜びを。喜びの世界をともに進んでまいりましょう。

喜びの、喜びの瞑想を続けてください。喜びの、喜びの瞑想をする時間を持っていってください。あなたの中にさらに、喜びと温もりが伝わってきます。

田池留吉、アルバートからのメッセージは波動です。波動は喜びです。喜びのパワーです。愛のエネルギー、パワーです。その愛のエネルギー、パワーを、どうぞ、どうぞ、心で受け止めていく、そんな時間をたくさん、たくさん持って、あなたの喜びを大きく、大きく感じていってください。

私達は喜びでした。私達は温もりでした。この広がる世界に、ただ一つの世界にあったことを心で感じられることが、これこそが唯一の喜びです。

私は伝えます。ともに、ともに存在しています。

心を向けられる喜びを伝えています。

心を向けて通じ合える喜びを伝えています。

田池留吉、アルバート。本当のあなた。愛。

喜んで、喜んで、心から喜んで、喜んで思ってください。

応えていきます。喜びが喜びをいざなっていきます。

喜びを大きくするのも自分だし、闇のまま、いいえ、さらに闇の中に落ちていくのも自分です。すべては自分次第。なぜならば、自分の中には自分しかいないからです。これが心で分かっていけば、今がどんなに幸せな時であるか、はっきりとしてきます。

自分の中に培ってきたエネルギーは、もともと

自分の中にあった喜びと温もりのエネルギーを蘇（よみがえ）らせる大きな起爆剤でした。

日々の生活の中には、そのことに気付くたくさんのチャンスがあります。その中で、体力と気力の続く限り学んでください。

どうぞ、自分の中の愛、喜びと温もりのエネルギーを確信する、自己確立の道を勤（いそ）しんでください。

愛のパワーに満ちた自分の世界に触れていけばいくほどに、自分を支えてくれている自分の優しさ、温もり、喜びが大きく感じられます。

そうなってくると、本当に何も必要としません。

この心、自分の中の愛、この自分をいつも感じていることだけが喜びだったことが分かります。

自己確立は喜びの道です。

私はあなたの中の愛。田池留吉、アルバートの意識です。

心をどんどんどんどん開いて、私の意識の中にどんどん入っていってください。そして、心の中から喜びと温もり、優しさ、愛溢れるエネルギー、そのパワーをどんどん流し続けてください。

そんな存在だったことを心で感じていくことが、あなたの喜びです。

あなたの喜びは私の喜び、私の喜びはあなたの喜びと伝えています。

心の中に田池留吉、アルバート、ただただ、そのことだけです。

心の針を合わせていくだけです。

あなたの中から伝えます。喜びのエネルギーも、愛のエネルギーも、パワーも、すべては一つだったんです。

温もりの中へ帰っていくことが私達の喜びです。喜びは喜びをいざなっていきます。喜びを大きく、あなたの心から流してください。そのエネルギー、パワーはすべてを変えてまいります。

愛溢れるあなたです。喜びをどんどんどんどん広げていってください。

この地球上にあなたが存在してきたのは、あなたが愛に目覚めるためです。

本当の自分に目覚めるためです。

あなたは愛。喜び溢れる姿。それが本当のあなた自身。その喜び溢れるあなたとともにこれからの時を、転生を、繰り返してください。

そして、二五〇年後、私達と出会うとき、ともに、ともに次元を超えていくあなた方であっていただきたい。あなたは愛。喜びのエネルギーです。

塩川香世（しおかわかよ）
1959 年 3 月大阪市に生まれる。
1991 年 3 月税理士登録。
税務関係業務に従事、現在に至る。

著書／「ありがとう」意識の流れ姉妹編（2006.8）
「母なる宇宙とともに」Ⅰ、Ⅱ（2007.3）（2007.4）
「意識の転回」ver1.0（2007.8）
「愛と死の真実」（2008.4）
「あなた、このまま死んでしまっていいのでしょうか」（2009.5）
「第二の人生」—ラストチャンスです—（2009.10）
「意識の流れ」—増補・改訂版—（2010.5）
「その人、田池留吉」—田池留吉の世界—（2010.10）
「続 意識の流れ」—改訂版—（2010.12）
「宇宙の風」—私達人間は、死んで終わりでしょうか—（2011.5）
「意識の転回」ver2.0（2011.8）
「その人、田池留吉Ⅱ」—田池留吉の世界　自然治癒力—（2011.11）
「磁場と反転」－その人、田池留吉 Ⅲ－（2012.11）
「母なる宇宙とともに」改訂版（2013.4）

愛　あなたは愛です
初版 第一刷発行　2013 年 12 月 10 日
第二刷発行　2013 年 12 月 31 日

著　　者　塩 川 香 世
発 行 者　桐 生 敏 明
装　　丁　金 子　 亙
電子図書製作　編集工房ＤＥＰ
発　　行　ＵＴＡブック
大阪府南河内郡河南町大宝 3-10-15
TEL FAX 0721-21-4712
発 売 元　株式会社シルクふぁみりぃ
印刷・製本　モリモト印刷株式会社